

# Novell NetWare® 6

[www.novell.com](http://www.novell.com)

---

概要とインストールガイド



# N

Novell®

## 法的事項

米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、本書の内容または本書を使用した結果について、いかなる保証、表明または約束も行っておりません。また、本書の商品性、および特定の目的への適合性について、いかなる黙示の保証も否認し、排除します。また、本書の内容は予告なく変更されることがあります。

米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、すべてのノベル製ソフトウェアについて、いかなる保証、表明または約束も行っておりません。また、ノベル製ソフトウェアの商品性、および特定の目的への適合性について、いかなる黙示の保証も否認し、排除します。米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、ノベル製ソフトウェアの内容を変更する権利を常に留保します。

本製品を米国またはカナダから輸出する際には、事前に米国商務省の輸出許可が必要となります。

Copyright © 2001 Novell, Inc. All rights reserved. 本書の一部または全体を無断で複写・転載することは、その形態を問わず禁じます。

米国特許番号 5,157,663; 5,349,642; 5,455,932; 5,553,139; 5,553,143; 5,572,528; 5,594,863; 5,608,903; 5,633,931; 5,652,859; 5,671,414; 5,677,851; 5,692,129; 5,701,459; 5,717,912; 5,758,069; 5,758,344; 5,781,724; 5,781,724; 5,781,733; 5,784,560; 5,787,439; 5,818,936; 5,828,882; 5,832,274; 5,832,275; 5,832,483; 5,832,487; 5,850,565; 5,859,978; 5,870,561; 5,870,739; 5,873,079; 5,878,415; 5,878,434; 5,884,304; 5,893,116; 5,893,118; 5,903,650; 5,903,720; 5,905,860; 5,910,803; 5,913,025; 5,913,209; 5,915,253; 5,925,108; 5,933,503; 5,933,826; 5,946,002; 5,946,467; 5,950,198; 5,956,718; 5,956,745; 5,964,872; 5,974,474; 5,983,223; 5,983,234; 5,987,471; 5,991,771; 5,991,810; 6,002,398; 6,014,667; 6,015,132; 6,016,499; 6,029,247; 6,047,289; 6,052,724; 6,061,743; 6,065,017; 6,094,672; 6,098,090; 6,105,062; 6,105,132; 6,115,039; 6,119,122; 6,144,959; 6,151,688; 6,157,925; 6,167,393; 6,173,289; 6,192,365; 6,216,123; 6,219,652; 6,229,809. 特許未決定。

Novell, Inc.  
1800 South Novell Place  
Provo, UT 84606  
U.S.A.

[www.novell.com](http://www.novell.com)

NetWare 6 概要とインストールガイド  
2001 年 10 月  
100-004755-001

オンラインドキュメント：本製品とその他の Novell 製品のオンラインマニュアルにアクセスする場合や、アップデート版を入手する場合は、<http://www.novell.com/documentation/japanese> を参照してください。

## Novell の商標

ConsoleOne は、米国 Novell, Inc. の商標です。

GroupWise は、米国 Novell Inc. の米国ならびに他の国における登録商標です。

eDirectory は、米国 Novell, Inc. の商標です。

Internetwork Packet Exchange および IPX は、米国 Novell, Inc. の商標です。

NDS Manager は、米国 Novell, Inc. の商標です。

NE3200 は、米国 Novell, Inc. の商標です。

NetWare は、米国 Novell, Inc. の米国ならびに他の国における登録商標です。

NetWare Loadable Module および NLM は、米国 Novell, Inc. の商標です。

NetWare Management Agent は、米国 Novell, Inc. の商標です。

NetWare Management Portal は、米国 Novell, Inc. の商標です。

NetWare Peripheral Architecture は、米国 Novell, Inc. の商標です。

Novell は、米国 Novell, Inc. の米国ならびに他の国における登録商標です。

Novell Client は、米国 Novell, Inc. の商標です。

Novell Cluser Services は、米国 Novell, Inc. の商標です。

Novell Directory Services および NDS は、米国 Novell, Inc. の米国ならびに他の国における登録商標です。

Novell Distributed Print Services は、米国 Novell, Inc. の米国ならびに他の国における商標であり、NDPS は、米国 Novell, Inc. の米国ならびに他の国における登録商標です。

Novell iFolder は、米国 Novell, Inc. の商標です。

Novell Support Connection は、米国 Novell, Inc. の米国ならびに他の国における登録商標です。

Open Data-Link Interface および ODI は、米国 Novell, Inc. の商標です。

SFT および SFT III は、米国 Novell, Inc. の商標です。

Storage Management Services および SMS は、米国 Novell, Inc. の商標です。

Transaction Tracking System および TTS は、米国 Novell, Inc. の商標です。

Virtual Loadable Module および VLM は、米国 Novell, Inc. の商標です。

ZENworks は、米国 Novell, Inc. の商標です。

## サードパーティの商標

サードパーティ各社とその製品の商標は、所有者であるそれぞれの会社に所属します。



# 目次

序文	9
マニュアルの表記規則	9
ご意見の宛先	10
<b>1 NetWare 6 へようこそ</b>	<b>11</b>
NetWare 6 で効率化されるエンドユーザ	11
Novell Native File Access Protocols によって Client ソフトウェアのインストールを抑制する	11
Novell iPrint を使用して任意の場所から印刷する	12
Novell iFolder を使用して任意の場所からファイルにアクセスおよび管理する	12
Novell NetStorage を使用してインターネットブラウザでファイルにアクセスする	13
Novell NetDrive を使用してネットワークデータを保存および取得する	13
NetWare WebAccess を使用してインターネットサービスに集中アクセスする	14
NetWare 6 によるネットワークの管理	14
NetWare Remote Manager を使用してネットワークを管理する	14
iManage を使用してインターネットブラウザから eDirectory オブジェクトを管理する	15
ConsoleOne を使用してネットワークを管理する	15
Novell DNS/DHCP 管理ツールを使用して IP アドレスを管理する	16
Novell Web サービスを使用してネットワークサービスの性能を向上する	16
NetWare Enterprise Web Server を使用して Web ページを発行する	18
Tomcat Servlet Engine を使用して NetWare 上でアプリケーションを実行する	18
NetWare Web Search サーバを使用してカスタム検索サービスを提供する	18
Network Information Services を使用して UNIX ネットワークおよび NetWare ネットワークを管理する	18
Novell Advanced Audit Service を使用してネットワークの使用状況を追跡する	19
Novell Licensing Services を使用してアプリケーションライセンスを追跡する	19
既存のネットワークプラットフォーム上での構築	19
Novell Cluster Services を使用して可用性を高める	19
Novell eDirectory を使用して多数のネットワークオブジェクトを管理する	20
Novell Storage Services を使用してディスク記憶デバイスを管理する	21
Novell Certificate Server を使用してデジタル証明書を作成する	21
Novell Modular Authentication Service を使用して識別情報を確認する	21
Storage Management Services を使用してデータをバックアップする	22
インターネットのプロトコルである IP を使用して通信する	22
Compatibility Mode Driver を使用して IPX アプリケーションをサポートする	22

NetWare 6 による導入コストの削減	23
NetWare 6 高速インストールを使用してサーバインストールを効率的に行う	23
NetWare 6 カスタムインストールを使用してサーバ設定をカスタマイズする	23
NetWare Migration Wizard を使用してネットワークデータを別のサーバに移行する	23
他のインストールオプションを使用して NetWare 6 への移行を単純化する	24
操作の開始	24
ステップ 1: 使用するソリューションの決定	24
ステップ 2: NetWare 6 のインストールまたはアップグレード	24
<b>2 NetWare 6 の設定</b>	<b>27</b>
システム要件とソフトウェア要件の適合	27
システム要件	27
ソフトウェア要件とその他の要件	28
ネットワークの準備	30
コンピュータの準備	33
コンピュータとネットワークハードウェアをインストールする	33
DOS パーティションを作成し、フォーマットする	33
インストールファイルにアクセスする	34
ソフトウェアのインストール	35
キャラクタベースの画面内を移動する	35
インストールタイプと地域設定の選択	35
言語を選択し使用許諾契約に同意する	36
インストールタイプを選択する	36
サーバ設定を指定する	38
地域設定を選択する	39
マウスタ입とビデオ타입を選択する	39
プラットフォームサポートモジュールとストレージアダプタの選択	40
プラットフォームサポートモジュールを選択する (必要な場合)	41
PCI ホットプラグモジュールを選択する (必要な場合)	41
ストレージアダプタを選択する	41
ストレージデバイスとネットワークボードの選択	42
ストレージデバイスを選択する	43
ネットワークボードを選択する	43
NetWare Loadable Module をロードする (必要な場合)	44
ネットワークパーティションと SYS: ボリュームの作成	44
既存の SYS: ボリュームを削除する (状況によって実行)	44
SYS: ボリュームを作成する	46
まとめ	47
サーバの名前指定	47
暗号化の有効化	49

NetWare サーバファイルシステムのインストール	49
ボリュームについて	50
ボリュームを作成する	51
ボリュームを変更する	51
ボリュームを削除する	52
ボリュームをマウントする	52
ネットワークプロトコルのインストール	53
IP (Internet Protocol) について	54
IPX について	55
IP と IPX を両方使用する	55
DNS (Domain Name Service) の設定	55
NetWare サーバを DNS サーバとして設定する (オプション)	56
サーバ時間帯の設定	57
Novell eDirectory の設定	57
eDirectory インストールのタイプを選択する	58
既存の eDirectory ツリーにサーバをインストールする	59
新しい eDirectory ツリーを作成する	59
まとめ	60
NetWare サーバのライセンス	61
ネットワーク製品のインストール	62
IP ベースサービスを設定する (状況によって実行)	63
Novell Certificate Server をインストールする	63
LDAP を設定する	65
Novell Native File Access Protocols をインストールする	66
NetWare WebAccess を設定する	74
Novell iManage を設定する	77
Novell iFolder をインストールする	78
Novell NetStorage をインストールする	79
インストールのカスタマイズ	81
サーバインストールの終了	82
次の手順	83
NSS ボリュームを更新する	83
追加製品をインストールする	84
<b>3 NetWare 6 へのアップグレード</b>	<b>85</b>
システム要件とソフトウェア要件の確認	86
システム要件とソフトウェア要件	86
ソフトウェア要件とその他の要件	86
ネットワークの準備	87
コンピュータの準備	91
NetWare サーバファイルをバックアップする	91
アップグレードの前にアプリケーションファイルを準備する	91
有効な DOS パーティションを検証する	92
インストールファイルにアクセスする	92
次の手順	93



# 序文

このマニュアルは、次の章で構成されています。

- ◆ 11 ページの第 1 章「NetWare 6 へようこそ」では、NetWare 6 の特徴と利点について説明します。また、NetWare 6 付属の製品についての説明と、これらの製品を使用することによってネットワークの価値がどのように高まるかについても説明します。
- ◆ 27 ページの第 2 章「NetWare 6 の設定」では、NetWare 6 サーバをインストールするために必要な要件と手順について説明します。
- ◆ 85 ページの第 3 章「NetWare 6 へのアップグレード」では、NetWare 3、4、または 5 サーバを NetWare 6 にアップグレードするために必要な要件と手順について説明します。

NetWare 6 のオンラインマニュアル、および関連する訂正事項やアップデート版は、Novell 製品マニュアルの Web サイト (<http://www.novell.com/documentation/japanese>) でも入手できます。

Novell エデュケーションでは、NetWare 6 を最大限に活用していただくために、さまざまなコースを用意しています。トレーニングイベントのコース内容、詳細、および開催場所については、Novell エデュケーション Web サイト (<http://www.novell.com/education/netware6>) にアクセスしてください。

## マニュアルの表記規則

このマニュアルでは、不等号 (>) を使用して、操作手順の動作、およびクロスリファレンスパス内の項目を区切ります。

また、「®」、「™」などの商標記号は、Novell の商標を示します。アスタリスク (\*) はサードパーティの商標を示します。

## ご意見の宛先

本マニュアルおよび NetWare 6 に含まれているその他のマニュアルについて、皆様のご意見やご要望をお寄せください。

ご意見やご要望は、[webdoc@novell.com](mailto:webdoc@novell.com) 宛てに電子メールでお送りいただくか、次の宛先にお送りください。

Novell, Inc.  
製品マニュアル  
MS PRV-E-232  
1800 South Novell Place  
Provo, UT 84606 USA  
Fax (801) 861-3002

# 1

## NetWare 6 へようこそ

NetWare® 6 は、ビジネスとネットワークに新しいソリューション、最先端の製品、および安全性に優れたアプリケーションを提供するものであり、これまでのやり方を大きく変えることができます。

NetWare 6 は、企業のネットワークやインターネット上での通信能力を大きく高めるためのネットワークサービスソフトウェアソリューションです。NetWare 6 は、ノンストップアクセス、Net-ready セキュリティ、および高い可用性を備えています。これにより、NetWare 6 が提供するファイルストレージ、印刷、電子メール、およびデータベースのリソースは、あらゆる種類のネットワーク — 企業とパブリック、ワイヤとワイヤレス、ストレージシステムとクライアントデスクトップ — から、1 つのネットワークとしてアクセスできます。

注：このセクションでは、このマニュアル以外の NetWare 6 マニュアルを参照することがあります。このマニュアルは、NetWare 6 オンラインマニュアル CD と、[NetWare 6 製品マニュアルの Web サイト \(http://www.novell.com/documentation/japanese/nw6p\)](http://www.novell.com/documentation/japanese/nw6p) から入手できます。

### NetWare 6 で効率化されるエンドユーザ

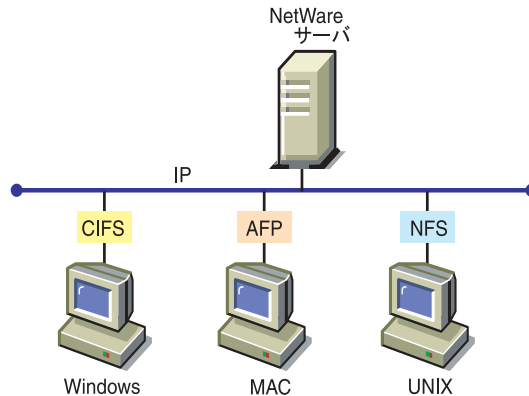
NetWare 6 によって、システム管理の作業が単純化されると同時に、エンドユーザの効率が向上します。各種の新製品を使用することで、エンドユーザは、任意の場所から各自のファイルに簡単にアクセス、同期、および印刷することができます。

### Novell Native File Access Protocols によって Client ソフトウェアのインストールを抑制する

Novell® Native File Access Protocols を使用すると、Macintosh\*、Windows\*、および UNIX\* ワークステーションは、Novell Client™ ソフトウェアなどのソフトウェアを新たにインストールすることなく、NetWare サーバ上のファイルにアクセスおよび保存できます。NetWare

サーバにのみソフトウェアをインストールすることで、「優れた」ネットワークアクセスが提供されます。ネットワークケーブルを差し込み、コンピュータを起動するだけで、ネットワーク上のサーバにアクセスできます。クライアントを設定する必要はありません。また、クライアントソフトウェアも必要ありません。何も問題ははありません。

詳細については、『[Novell Native File Access Protocols Installation and Administration Guide](#)』を参照してください。



## Novell iPrint を使用して任意の場所から印刷する

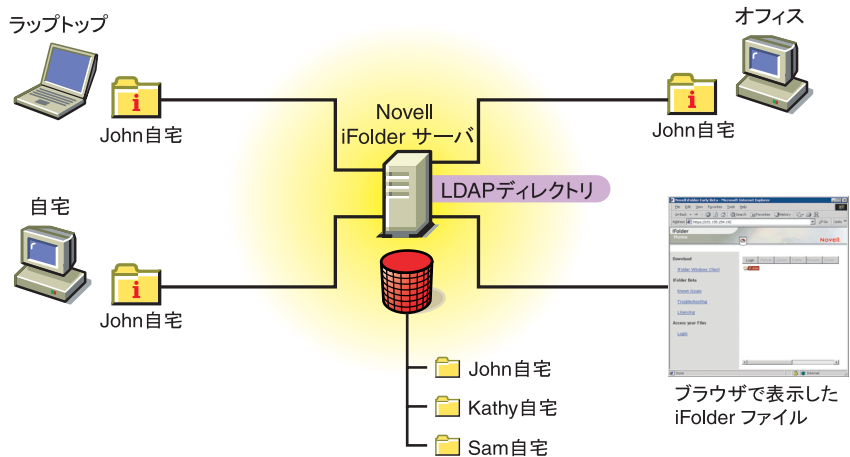
Novell iPrint を使用すると、モバイルユーザ、ビジネスパートナー、および顧客は、既存のインターネット接続を利用して、遠隔各地からプリンタにアクセスできます。ユーザは、Web ブラウザを使用してプリンタをインストールしたり、プリントジョブを管理します。管理者は、利用可能なプリンタのリストの Web ページを設定したり、プリンタの設置場所を示すマップを作成して、ユーザが自分に最も近い位置にあるプリンタを見つけられるようにします。

詳細については、『[iPrint 管理ガイド](#)』を参照してください。

## Novell iFolder を使用して任意の場所からファイルにアクセスおよび管理する

Novell iFolder は、データの保管および取得に関連して発生する一般的な問題に対する、ファイル保管および管理ソリューションです。iFolder を使用すると、いつでも、普段使用するコンピュータのどれからでも自分のデータの最新バージョンにアクセスできます。通常使用しないコンピュータからでも、インターネット接続および Java\* が使用可能なブラウザがあれば、ファイルにアクセスして管理できます。

詳細については、『[Novell iFolder 管理ガイド](#)』を参照してください。



## Novell NetStorage を使用してインターネットブラウザでファイルにアクセスする

Novell NetStorage によって、ファイル保管への単純なインターネットベースのアクセスが提供されます。Novell NetStorage は、企業の保護されている Novell ネットワークとインターネットをつなぐ役割を果たします。ユーザは、自分のワークステーションに何もダウンロードしたりインストールすることなく、任意のインターネットロケーションから、安全にファイルにアクセスできます。Novell ネットワーク上にあるファイルとフォルダには、ブラウザまたは Microsoft® Web フォルダを使用してアクセスできます。

詳細については、『[NetStorage Overview and Installation](#)』クイックスタートを参照してください。

## Novell NetDrive を使用してネットワークデータを保存および取得する

Novell NetDrive は、データの保存と取得に関する一般的な問題に対処するためのファイル保管ソリューションです。NetDrive を使用すると、インターネットに接続するだけで、ドライブを Web サーバまたは FTP サーバにマップできます。Novell Client をインストールする必要はありません。Web サーバまたは FTP サーバに接続している場合、Windows のエクスプローラで行っている通常のすべてのファイル操作を実行できます。

詳細については、『[Novell NetDrive Administration Guide](#)』を参照してください。

## NetWare WebAccess を使用してインターネットサービスに集中アクセスする

NetWare WebAccess を使用すると、管理者が設定する Web ページによって、ユーザは各自の Web ブラウザから複数のネットワークリソースにアクセスできるようになります。ユーザがリソースにアクセスするために、Novell Client または VPN クライアントは必要ありません。規格に準拠したブラウザを備えたコンピュータから、Web 上のリソースにアクセスできます。

ガジェットをとおして、カスタマイズされたコンテンツが提供されます。ガジェットは、ネットワーク上の特定のコンテンツへのアクセスを提供します。ガジェットは、適切なバックエンドシステムと通信して特定のユーザにとって必要なデータを収集します。このため、ユーザは 1 つのパスワードですべてのデータにアクセスできます。

詳細については、『[NetWare WebAccess 概要とインストール](#)』を参照してください。

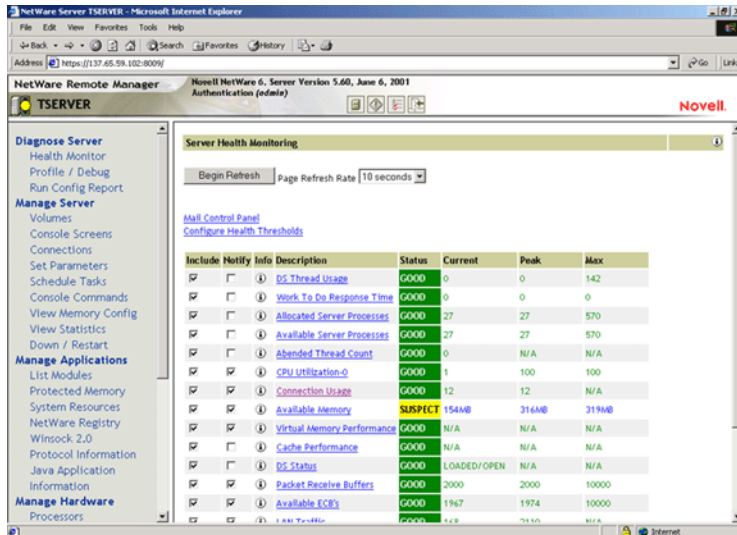
## NetWare 6 によるネットワークの管理

NetWare 6 は多くの新しいユーティリティを備えており、ネットワークを簡単に、かつ効率的に管理できます。ネットワーク管理者は、これらのユーティリティによって、ネットワークを簡単化、安全化、および管理するための多くのソリューションが提供されることが確認できます。

## NetWare Remote Manager を使用してネットワークを管理する

NetWare Remote Manager では、Web ブラウザを使用して、任意のワークステーションから NetWare サーバに安全にアクセスし、特定のサーバ管理タスクを実行できます。Remote Manager から、サーバの状態、プロセス、および CPU の使用状況を監視できます。

ボリュームのマウントとマウント解除、サーバ接続の管理、SET パラメータの設定、サーバの環境設定の表示、ボリュームと DOS パーティション上のファイルへのアクセスなどの一般的なサーバ管理タスクに加えて、サーバのシャットダウン、再起動、および再設定も実行できます。[Console Screens] アプレットを使用すると、サーバコンソールでキーボードを使用しているかのように、すべてのコンソール画面を表示および実行できます。



NetWare Remote Manager の詳細については、『[NetWare Remote Manager 管理ガイド](#)』を参照してください。

## iManage を使用してインターネットブラウザから eDirectory オブジェクトを管理する

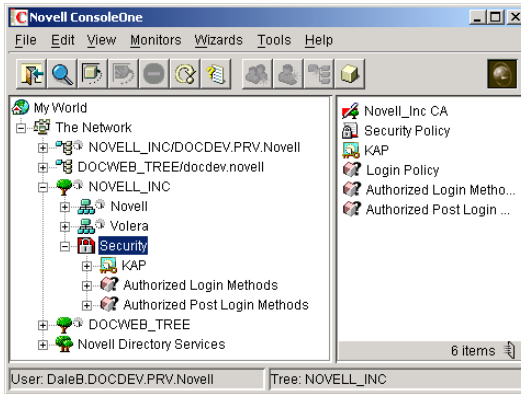
iManage はインターネットブラウザの中で動作し、Novell eDirectory オブジェクトを管理および設定するときに使用します。iManage を使用すると、ユーザに特定のタスクや責任を割り当て、その一連のタスクを実行するために必要なツールだけを付随する権利と共に提供できます。NetWare 6 では、iManage を使用して iPrint、DNS/DHCP、および Novell Licensing Services を管理できます。

詳細については、『[Novell iManage 管理ガイド](#)』を参照してください。

## ConsoleOne を使用してネットワークを管理する

ConsoleOne™ は Java ベースの管理ツールであり、各種プラットフォーム上の Novell 製品およびサードパーティ製品を柔軟に管理できます。ConsoleOne は NetWare サーバまたは Windows ワークステーション上で動作し、eDirectory オブジェクト、スキーマ、パーティション、レプリカ、NetWare サーバなどのネットワークリソースを、1ヶ所から管理します。

ConsoleOne を使用すると、複数のファイル、フォルダ、オブジェクト、およびボリュームのプロパティを変更できます。ConsoleOne を使用すると、大規模な eDirectory ツリーの高速ブラウズ、ユーザアカウントの管理、権利の管理、および eDirectory スキーマの拡張を行うこともできます。



### Novell ConsoleOne

詳細については、『[ConsoleOne 1.3 ユーザガイド](#)』を参照してください。

## Novell DNS/DHCP 管理ツールを使用して IP アドレスを管理する

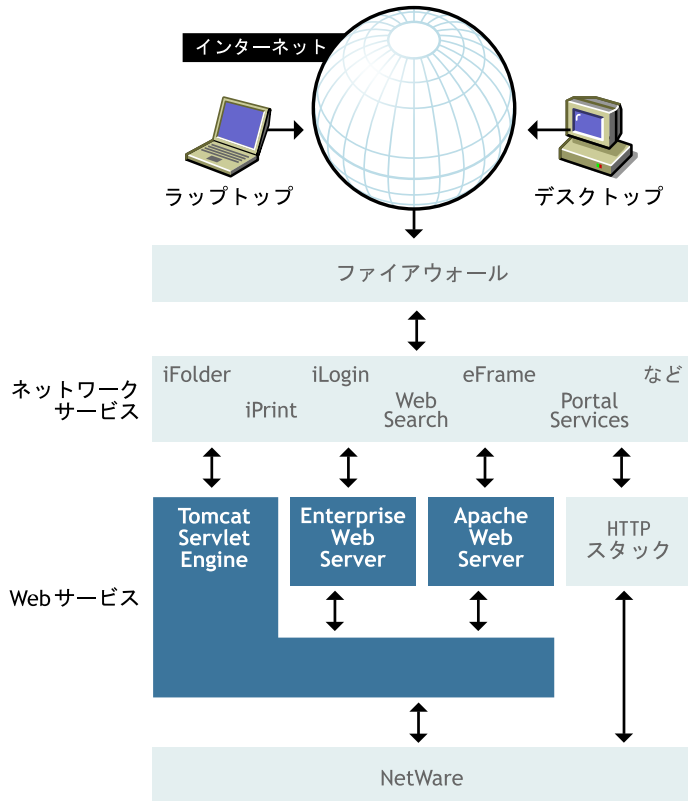
DNS/DHCP 管理ツールはインターネットブラウザで動作し、ネットワーク管理者がこのツールを使用すると、DNS (Domain Name System Service) と DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol Service) を簡単に設定および管理できます。

詳細については、『[Novell DNS/DHCP Services Administration Guide](#)』を参照してください。

## Novell Web サービスを使用してネットワークサービスの性能を向上する

Novell Web サービスは、Novell のネットワークサービス製品が動作するためのテクノロジーである TTomcat Servlet Engine、NetWare Enterprise Web Server、Apache Web Server、WebDAV など、さまざまな製品の集まりです。

次の図は、iFolder、iPrint、iLogin、Web Search サーバなどのネットワークサービスソフトウェアに対して、Web 対応テクノロジーとしての役割を果たす Novell Web サービスの役割を示しています。



NetWare 6 では、WebDAV を使用したドキュメントの管理、FTP を使用したファイルの転送、HTTP を使用した通信などが行えます。

詳細については、『[Novell Web Services の使用](#)』を参照してください。

## NetWare Web Manager を使用して Novell Web Services を管理する

NetWare Web Manager は、すべての Novell Web Services を管理し、他の Web ベースの管理ツールにアクセスするためのツールです。Novell Web Services は、インターネット上の任意の場所から、インターネットブラウザを使用して管理できます。

詳細については、『[Novell Web Services の使用](#)』の「[NetWare Web Manager の概要](#)」を参照してください。

## NetWare Enterprise Web Server を使用して Web ページを発行する

NetWare Enterprise Web Server は、NetWare 環境で動作するように最適化されています。これは、Web ページを、インターネット、イントラネット、またはエクストラネットに発行する役割を果たします。

NetWare Enterprise Web Server を使用すると、部門間で、または世界中で通信できます。カスタマ、サプライヤ、ベンダ、またはコンサルタントは、特定の情報にアクセスできます。もちろん、インターネットに情報を発行できるので、世界中の人がその情報を参照したり、関係することもできます。

詳細については、『Novell Web Services の使用』の「[Web Server を使用する](#)」を参照してください。

## Tomcat Servlet Engine を使用して NetWare 上でアプリケーションを実行する

サーバ上で java アプリケーションを実行する場合、または開発する場合、NetWare 6 は Tomcat Servlet Engine を使用してそのアプリケーションを実行できます。

詳細については、『Novell Web Services の使用』の「[プログラムを使用したサーバの拡張](#)」を参照してください。

## NetWare Web Search サーバを使用してカスタム検索サービスを提供する

NetWare Web Search によって、Web ページ上の 1 つの検索フォームから、パブリックおよびプライベート Web サイト、パートナーのサイト、インターネット上のその他の多数の Web サイトを対象に、特定の情報を見つけることができます。

詳細については、『Novell Web Services の使用』の「[NetWare Web Search Server の概要](#)」を参照してください。

## Network Information Services を使用して UNIX ネットワークおよび NetWare ネットワークを管理する

NIS (Network Information Service) を使用すると、ユーザ、グループ、およびホストに関する情報に加えて、NIS クライアントが必要とするその他の情報を提供することによって、Novell eDirectory™ を使用して UNIX コンピュータを管理できます。すべての情報は、eDirectory ツリーに eDirectory オブジェクトの形式で保持されます。NIS は、標準の NIS マップおよびユーザ定義 (カスタム) の NIS マップをサポートします。

詳細については、『[Novell Native File Access Protocols Installation and Administration Guide](#)』を参照してください。

## Novell Advanced Audit Service を使用してネットワークの使用状況を追跡する

NAAS (Novell Advanced Audit Service) は、Novell eDirectory 対応の、信頼性と柔軟性に優れたスケーラブルな監査フレームワークです。Novell とサードパーティの両方のサービスを監査し、ネットワーク全体の監査データを単一の統一された表示で提供できます。設定可能な監査ポリシーを eDirectory に保存することで、単一の管理ポイントが提供されます。

ネットワークに監査機能が追加されるため、企業のネットワークがカスタマ、サプライヤ、およびパートナーに公開される場合、セキュリティ関連の問題が解決されます。

詳細については、『[Novell Advanced Audit Service Administration Guide](#)』を参照してください。

## Novell Licensing Services を使用してアプリケーションライセンスを追跡する

NLS (Novell Licensing Services) は分散型の企業ネットワークサービスで、ライセンスが許諾されているアプリケーションのネットワーク上での使用を監視および制御できます。NLS は基本的なライセンスメータリングツールに加えて、ライセンスサービス機能を、他のライセンスシステムの開発者にエクスポートするライブラリも備えています。NLS は Novell eDirectory テクノロジーに密接に統合されており、企業サービスアーキテクチャに基づいています。

詳細については、『[Novell Licensing Services 管理ガイド](#)』を参照してください。

## 既存のネットワークプラットフォーム上での構築

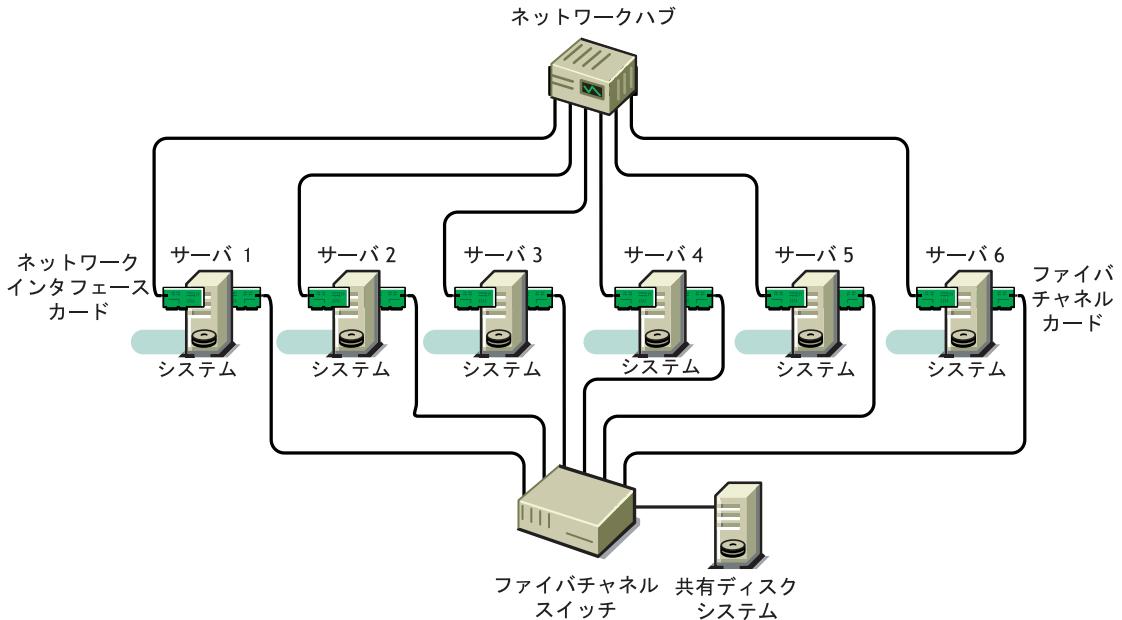
NetWare 6 は、実績のあるネットワークオペレーティングシステムと新しいテクノロジーを組み合わせることで、ビジネスとネットワークの増大に対応できるプラットフォームを提供します。

## Novell Cluster Services を使用して可用性を高める

NetWare 6 には、Novell Cluster Services™ が含まれています。これを使用すると、データ (ボリューム)、アプリケーション、サーバライセンス、サービスなど、重要なネットワークリソースの高度な可用性と管理を実現できます。Novell Cluster Services は、NetWare 6 用のマルチノードの eDirectory 対応クラスタリング製品であり、個別に管理されたクラスタリソースのフェイルオーバー、フェイルバック、およびマイグレーション (負荷分散) をサポートしています。

Novell Cluster Services を使用すると、最大 32 台の NetWare サーバを可用性の高いクラスタに組み込むことができます。このクラスタでは、クラ

スタ内のあらゆるサーバに対するリソースの動的な切り替えと移動ができます。サーバ障害発生時のリソースの自動切り替えや移動の設定ができます。また、ハードウェアのトラブルシューティングやワークロードのバランスをとるために、リソースを手動で移動することもできます。



詳細については、『[Novell Cluster Services 概要とインストール](#)』を参照してください。

## Novell eDirectory を使用して多数のネットワークオブジェクトを管理する

Novell eDirectory は、すべてのサービスを備えている、プラットフォームに依存しない LDAP ディレクトリであり、ユーザ、アプリケーション、ネットワークデバイス、データなど、多数のオブジェクトを保存および管理できます。

Novell eDirectory はレプリケーション機能とパーティション機能を備えており、自動ビジネスリレーションシップ管理、サプライチェーン管理、電子店舗、自動供給、セキュリティ強化、カスタムプロファイリング、電子財布、自動通知システム、カスタマイズ Web インタフェース、VPN (Virtual Private Network) など、ディレクトリ対応サービスの基盤としての役割を果たします。

詳細については、『[Novell eDirectory 8.6 管理ガイド](#)』を参照してください。

## Novell Storage Services を使用してディスク記憶デバイスを管理する

NSS (Novell Storage Services) は、ファイルシステム要件の増大に対応できるファイルストレージおよび管理システムです。NSS は、複数のストレージデバイスの空き容量を確保し、ボリュームを無制限に作成できます。ここでは、最大で 8 兆個のファイル (各ファイルの最大サイズは 8 テラバイト) を保存できます。255 個ものボリュームを簡単にマウントできます。NSS を使用すると、エンドユーザの作業を妨げることなく、ボリュームをマウント、設定、および保守できます。

詳細については、『[Novell Storage Services 管理ガイド](#)』を参照してください。

## Novell Certificate Server を使用してデジタル証明書を作成する

Novell Certificate Server を使用すると、デジタル証明書を作成、発行、および管理できます。Novell Certificate Server をインストールすると、セキュリティコンテナオブジェクト、組織の CA (認証局) オブジェクト、および 2 つのサーバ証明書が作成されます。サーバ証明書により、データを保護し、安全に伝送できるようになります。NetWare Web Manager や NetWare Enterprise Web Server などの Web 関連製品には、サーバ証明書が必要です。

詳細については、『[Novell Certificate Server](#)』を参照してください。

## Novell Modular Authentication Service を使用して識別情報を確認する

NMAS (Novell Modular Authentication Service) は、ネットワーク上の情報を保護することが目的です。NMAS は、Novell eDirectory および Windows NT/2000 ネットワークに対する各種の認証方法がまとめられたものであり、ネットワークリソースにアクセスしてくるユーザの身元を確認できます。

詳細については、『[Novell Modular Authentication Service Administration Guide](#)』を参照してください。

## Storage Management Services を使用してデータをバックアップする

SMS™ (Storage Management Services™) は、すべてのストレージ要件に対応するデータ保護システムです。SMS を使用すると、eDirectory、ファイルシステム、各ワークステーションのハードディスクなどのターゲットを、オフサイトで保存できるテープデバイスにバックアップしたり、これを復元できます。

ハードウェアの障害やデータの損傷が発生した場合、またはデータを間違えて削除したり変更した場合は、以前のバージョンのデータを回復できます。優れたパフォーマンスとクラスタリソースのサポートが、SMS の新機能として期待されています。

詳細については、『[Storage Management Services Administration Guide](#)』を参照してください。

## インターネットのプロトコルである IP を使用して通信する

Novell TCP/IP ソフトウェアを使用することで、インターネット環境内の異なるホスト間の接続が実現されます。TCP/IP スタックによって、マルチホーミング機能を使用して、複数のボードをグループ化できます。設定したボード間で負荷を分散し、ボードに障害が発生した場合のダウンタイムを最小限に抑えることもできます。インターネット環境におけるホストの、高度なセキュリティ、パフォーマンス、および信頼性が提供されます。

Novell TCP/IP は、サポートされているすべてのプロトコルの、設定可能なパラメータの拡張セットを備えています。これらのパラメータを使用することで、初期環境設定のデフォルト特性を変更できます。また、高度な機能を設定したり、ホスト、ルータ、および LAN パフォーマンスオプションを最適化することもできます。

詳細については、『[TCP/IP Administration Guide](#)』を参照してください。

## Compatibility Mode Driver を使用して IPX アプリケーションをサポートする

CMD (Compatibility Mode Driver) によって、IP プロトコルを使用して NetWare サービスにアクセスできます。CMD サービスは、システムが IPX™ アプリケーションを使用する場合、または IP システムと IPX システムの間で接続の確立を試みる場合のみ使用されます。これらのドライバは、IP のみのシステムとしてインストールされている場合、NetWare クライアントとサーバの両方に自動的にロードされます。また、IPX Compatibility Driver は、IP システムがマイグレーションエージェントを使用して IPX システムと通信できるようにすることもできます。

マイグレーションエージェントは、IPX システムと IP システム間の通信を実現し、IPX セグメントに接続する IP バックボーンを作成する、マイ

グレーションコンポーネントです。マイグレーションエージェントは、接続を失うことなく、システムを IPX から IP に段階的に移行するために使用されます。

詳細については、『[Server Communications Administration Guide](#)』を参照してください。

## NetWare 6 による導入コストの削減

NetWare 6 には、新しいサーバのインストール、従来の NetWare サーバのアップグレード、または Windows NT\* サーバからの移行を行う各種のオプションが用意されています。インストールするサーバが 1 台であっても 1000 台であっても、NetWare 6 のインストールオプションで作業を実行できます。

### NetWare 6 高速インストールを使用してサーバインストールを効率的に行う

NetWare 6 は、推奨されるデフォルト値を使用することでサーバを高速にインストールできるインストールオプションを備えています。ディスクとネットワークボードのドライバは自動的に検出され、ロードされます。SYS: ポリウムも自動的に作成され、デフォルトの製品がインストールされます。高速インストールオプションを使用すると、サーバのインストール作業を簡単に行うことができます。

### NetWare 6 カスタムインストールを使用してサーバ設定をカスタマイズする

ネットワーク環境で特定の設定が必要な場合は、インストールするコンポーネントと製品を選択し、インストール先を選択できます。ポリウムとパーティションを必要なだけ大きくすることもできます。NetWare 6 カスタムインストールオプションによって、必要な柔軟性が与えられます。

### NetWare Migration Wizard を使用してネットワークデータを別のサーバに移行する

NetWare Migration Wizard は、ハードウェアとソフトウェアのアップグレードに関する問題に対処するソリューションです。マイグレーションウィザードを使用すると、Windows NT および NetWare 3、4、5、または 6 のデータを、NetWare 5 または 6 を実行しているコンピュータに移行できます。

詳細については、『[NetWare Migration Wizard 6 管理ガイド](#)』を参照してください。

## 他のインストールオプションを使用して NetWare 6 への移行を簡単化する

NetWare 6 をインストールおよびアップグレードするために、この他にも多くのオプションが用意されています。

NetWare Accelerated Upgrade によるクイックアップグレード — Windows クライアントワークステーションから NetWare Accelerated Upgrade を実行できます。サーバコンソールを物理的に操作する必要はありません。NetWare Accelerated Upgrade は標準のインストール処理よりも高速ですが、追加のネットワーク製品、ライセンスサービス、またはライセンス証明書はインストールされません。

応答ファイルによる NetWare インストールの自動化 — 応答ファイルを使用すると、NetWare オペレーティングシステムソフトウェアを、より簡単に、かつ柔軟にインストールできます。グラフィカルなサーバインストールで使用する場合、応答ファイルによって、特定のデフォルト値の設定と表示、インストール操作全体の省略、およびサーバインストールプロセス全体の自動化を行うことができます。

インストールスクリプトによるインストールの制御 — NetWare インストールスクリプトを使用すると、NetWare インストールプロセスを変更または拡張できます。インストールスクリプトを使用する場合、オペレーティングシステムをインストールした後で、追加の製品をサーバにインストールできます。

これらのオプションの詳細については、『[その他のインストールオプション](#)』を参照してください。

## 操作の開始

NetWare 6 の機能について理解し、多くのオプションを使用できることがわかりました。次のステップでは、使用する製品とソリューションを決定し、NetWare 6 サーバをインストールします。

### ステップ 1: 使用するソリューションの決定

NetWare 6 サーバをインストールする前に、選択したソリューションに関するすべての情報を参照します。製品によっては、サーバを特別な方法でインストールする必要があります。

### ステップ 2: NetWare 6 のインストールまたはアップグレード

NetWare 6 をインストールおよびアップグレードするには、各種のオプションがあります。自分に最も適したオプションを選択し、提供される指示に従います。

インストールオプション	参照先
NetWare 6 サーバを既存のネットワークに追加する	27 ページの第 2 章 「NetWare 6 の設定」
NetWare 3、NetWare 4、または NetWare 5 からアップグレードする	85 ページの第 3 章 「NetWare 6 へのアップグレード」
別の NetWare サーバまたは NT Server からデータを移行する	NetWare Migration Wizard 6 管理ガイド
詳細なインストール/アップグレードオプションを使用する	その他のインストールオプション

この情報はすべて、NetWare 6 製品に同梱されている NetWare 6 オンラインマニュアル CD と、NetWare 6 製品マニュアルの Web サイト (<http://www.novell.com/documentation/beta/nw6p>) から入手できます。



# 2

## NetWare 6 の設定

この章では、NetWare<sup>®</sup> 6 サーバの設定方法について説明します。インストールの手順には、次のタスクが含まれます。

- ◆ システム要件とソフトウェア要件を確認する
- ◆ ネットワークとコンピュータを準備する
- ◆ インストールタイプを決定する
- ◆ ハードウェアとソフトウェアの設定を指定する
- ◆ SYS: ボリュームを作成する
- ◆ サーバの名前を設定し、サーバファイルシステムをインストールする
- ◆ ネットワークプロトコルをインストールする
- ◆ Novell eDirectory を設定する
- ◆ 他のネットワーク製品をインストールする

### システム要件とソフトウェア要件の適合

#### システム要件

NetWare は、次に示す最小限のシステム要件で動作します。最適なパフォーマンスを得るには、コンピュータが推奨要件を満たしている必要があります。

#### 最小限のシステム要件

NetWare 6 の最小限のシステム要件は次のとおりです。

- Pentium\* II または AMD\* K7 プロセッサを搭載したサーバクラスの PC
- 256MB の RAM

- ❑ Super VGA ディスプレイアダプタ
- ❑ 200MB 以上の DOS パーティションと 200MB の空き容量
- ❑ SYS:ボリューム用にDOSパーティション以外の2GBの空きディスク容量
- ❑ ネットワークボード 1 枚
- ❑ CD ドライブ
- ❑ USB、PS/2\*、またはシリアルマウス ( 必須ではなく推奨 )

## 推奨されるシステム要件

最適なパフォーマンスを実現するための、NetWare 6 の推奨されるシステム要件は次のとおりです。

- ❑ 2 ウェイ Pentium III 700 MHz 以上のプロセッサを搭載したサーバクラスの PC

注: NetWare 6 は 32 個のプロセッサ上で動作できます。

- ❑ 512MB の RAM
- ❑ Super VGA ディスプレイアダプタまたは高解像度ディスプレイアダプタ
- ❑ 空き容量が 1GB の DOS パーティション

注: ブートパーティションの最適なサイズは、空きディスク容量の最小値に、サーバメモリの容量を加えた値です。空き容量の最小値が 200MB で、RAM が 1024MB のサーバの場合、ブートパーティションの最適なサイズは 1224MB (1024MB + 200MB = 1224MB) です。このサイズであれば、必要に応じてディスクドライブに対してコアダンプを実行できます。

- ❑ DOS パーティション以外の 4GB の空きディスク容量
- ❑ ネットワークボード 1 枚以上
- ❑ El Torito 仕様をサポートするブート可能な CD ドライブ
- ❑ USB、PS/2、またはシリアルマウス

## ソフトウェア要件とその他の要件

ネットワークの環境設定に応じて、次のソフトウェアと情報の中の 1 つまたはすべてが必要です。

- ❑ NetWare 6 オペレーティングシステム CD
- ❑ NetWare 6 ライセンス / 暗号化ディスク

- eDirectory™ ツリーの [Root] に対するスーパーバイザ権
- サーバのインストール先のコンテナに対するスーパーバイザ権
- eDirectory ツリーのセキュリティコンテナオブジェクトに対する読み込み権
- DOS ドライバおよび CD ドライバ (コンピュータを CD から起動しない場合に必要)  
NetWare 6 オペレーティングシステム CD の INSTALL ディレクトリにある MKFLOPPY.BAT プログラムを使用すると、ブート可能なフロッピーディスクを作成できます。
- クライアント接続ユーティリティ (ネットワークからインストールする場合のオプション)
  - ◆ Novell Client™ for DOS and Windows\* 3.1x (IPX™ を実行している NetWare サーバからインストールする場合のオプション)。
  - ◆ IP Server Connection ユーティリティ (IP のみが動作している NetWare サーバからインストールする場合のオプション)。  
操作手順については、Novell Client CD の PRODUCTS¥SERVERINST¥IPCONN.TXT を参照してください。
- IP アドレスおよびドメイン名 (インターネットに接続する場合に必要)
  - ◆ IP アドレス
  - ◆ ドメインネームサーバの IP アドレス
  - ◆ ドメイン名  
IP アドレスとドメイン名については、ネットワーク管理者およびインターネットサービスプロバイダに問い合わせてください。
- 割り込みやポートアドレスなど、ネットワークボードとストレージデバイスのプロパティ (NetWare に含まれていない場合に必要)  
詳細については、コンピュータハードウェアの製造元に問い合わせてください。

次に、NetWare 6 サーバのネットワークを準備します。このサーバを既存のネットワークに組み込まない場合は、**33 ページの「コンピュータの準備」**に進んでください。

## ネットワークの準備

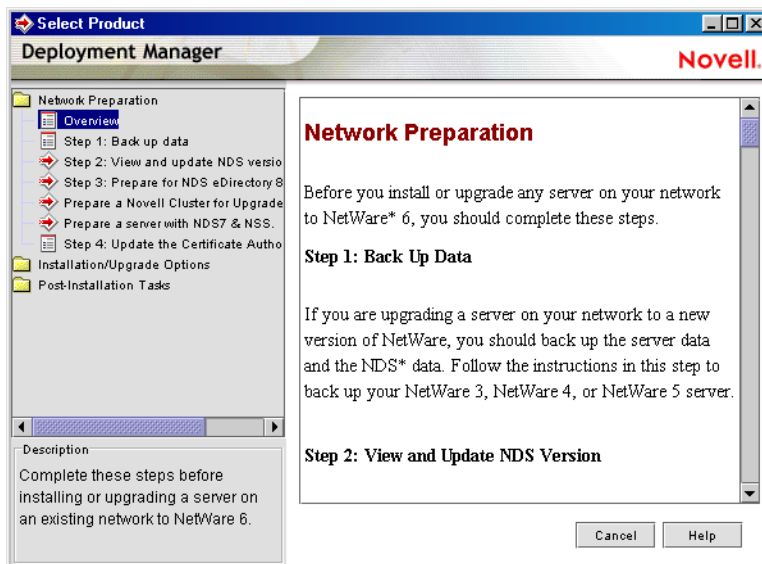
NetWare 6 サーバを既存のネットワークに導入する前に、NetWare Deployment Manager を実行してネットワークを更新する必要があります。

NetWare 6 用にネットワークを更新するには、次を実行します。

- 1 Windows 95/98 または Windows NT/2000 ワークステーションから、スーパーバイザ権を持つユーザとして、既存のネットワークにログインします。

NetWare Deployment Manager の使用中にネットワークへのログインが要求される場合は、サーバ名を入力するか、[Details] をクリックし、IP アドレスを指定します。

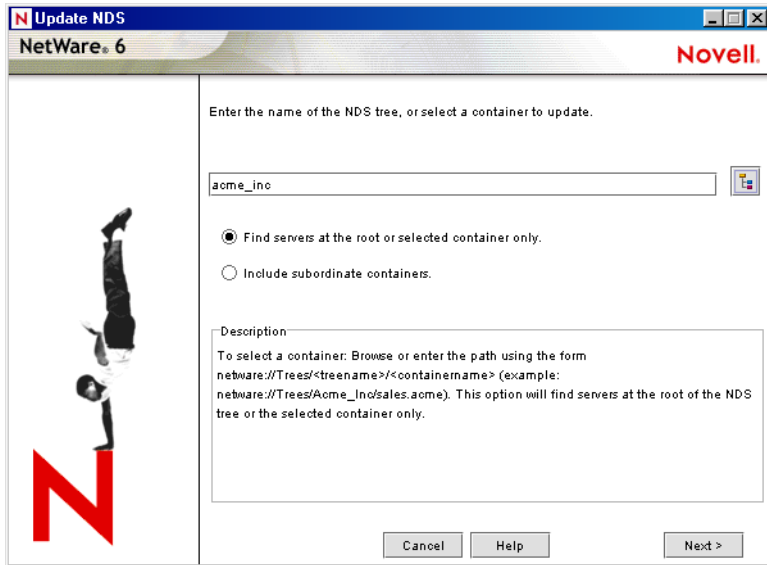
- 2 NetWare 6 オペレーティングシステム CD にある NetWare Deployment Manager (NWDEPLOY.EXE) を実行します。



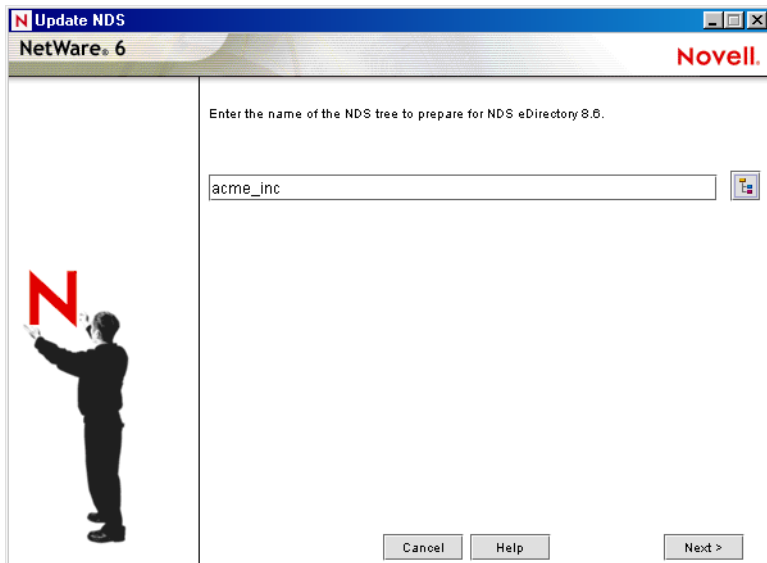
- 3 [Network Preparation] フォルダをダブルクリックし、タスクの一覧を表示します。[Overview] セクションを参照し、タスクについて理解します。
- 4 [Back Up Data] ステップの指示に従って、サーバデータと Novell® eDirectory データをバックアップします。

- 5 [View and Update eDirectory Version] プログラムを実行し、必要に応じて eDirectory を更新します。

ヒント : NetWare Deployment Manager の実行時にログインが再び要求される場合は、[Details] をクリックして、サーバの IP アドレスを入力します。

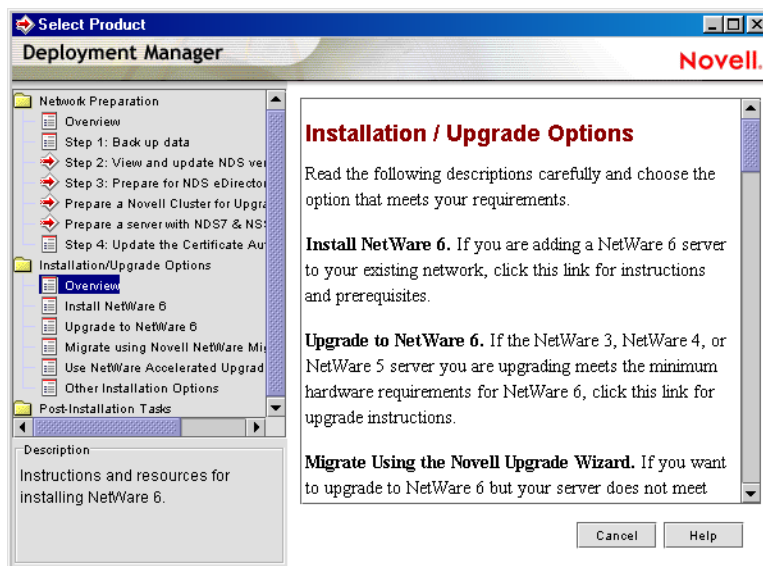


- 6 [Prepare for eDirectory] プログラムを実行し、ネットワークスキーマを拡張します。



- 7 (状況によって実行)NetWare サーバのクラスタをアップグレードしている場合は、[Prepare a Novell Cluster for Upgrade] プログラムを実行します。
- 8 (状況によって実行)NSS ボリュームを備えた、NDS<sup>®</sup> 7 が動作している NetWare 5 サーバをアップグレードしている場合は、[Prepare a Server with NDS 7 and NSS] プログラムを実行します。
- 9 [Update Certificate Authority (CA) Object] ステップの指示に従い、セキュリティコンテナオブジェクトと認証局 (CA) オブジェクトを作成または更新します。

NetWare Deployment Manager の [Network Preparation] セクションを終了した後、[Installation / Upgrade Options] セクションを参照し、自分に最も適したオプションを決定します。



インストールオプションまたはアップグレードオプションを選択した後、NetWare 6 サーバとなるコンピュータを準備します。

# コンピュータの準備

NetWare 6 に備えてコンピュータを準備するには、次を実行します。

- ◆ コンピュータとネットワークハードウェアをインストールする
- ◆ DOS パーティションを作成し、フォーマットする
- ◆ インストールファイルにアクセスする

## コンピュータとネットワークハードウェアをインストールする

製造元の指示に従って、ネットワークボードとネットワークケーブルをコンピュータにインストールし、接続します。すべてのストレージデバイスが、ストレージアダプタに正しく接続されていることを確認します。

## DOS パーティションを作成し、フォーマットする

コンピュータを起動し、NetWare をロードするには、DOS パーティションが必要です。DOS パーティションには、NetWare の起動ファイルとサーバファイルが格納されます。

ヒント：各自の環境設定要件に合わせて、DOS パーティションのサイズを増やしてください。27 ページの「システム要件」を参照してください。

DOS パーティションを作成し、フォーマットするには、次を実行します。

- 1 目的のデータを、別のコンピュータ、またはオフラインのストレージメディアにバックアップします。
- 2 NetWare 6 オペレーティングシステム CD を挿入し、コンピュータを起動します。
- 3 次のいずれかを実行します。
  - ◆ コンピュータを CD から起動する場合は、画面のメッセージに従ってパーティションを作成し、フォーマットします。36 ページの「言語を選択し使用許諾契約に同意する」に進みます。
  - ◆ 別のサーバ上のファイルからインストールする場合は、次のステップを続行します。
  - ◆ コンピュータを CD から起動しない場合は、次のステップを続行します。
- 4 コンピュータを DOS 3.3 以上で起動します。

NetWare 6 オペレーティングシステム CD の INSTALL ディレクトリにある MKFLOPPY.BAT プログラムを使用すると、ブート可能なフロッピーディスクを作成できます。NetWare 6 ライセンス/暗号化

ディスクから起動できます。ディスクと CD には、DOS 7 および必要なすべての DOS ユーティリティが収められています。

- 5 コンピュータに Windows や NetWare などのオペレーティングシステムがすでにインストールされている場合は、パーティションとオペレーティングシステムを完全に削除する必要があります。

パーティションを削除するには、FDISK を使用します。

- 6 「**FDISK**」 と入力し、FDISK を使用してアクティブな DOS パーティションを作成します。

プライマリ DOS パーティションを作成し、これをアクティブパーティションに設定します。最小限の要件については、[27 ページの「システム要件」](#)を参照してください。

コンピュータが再起動します。

- 7 ドライブを A: に変更し、「**FORMAT C: /S**」 と入力して、パーティションをフォーマットし、DOS システムファイルを転送します。

最小限の要件以上のアクティブな DOS パーティションが、コンピュータに作成されます。インストールファイルにアクセスして、インストールを続行します。

## インストールファイルにアクセスする

NetWare 6 は、サーバのローカルな CD ドライブ、またはネットワーク上にあるインストールファイルからインストールできます。NetWare 6 インストールファイルにアクセスするには、次を実行します。

- 1 CD ドライブの DOS CD ドライバを、DOS パーティションにインストールします。

DOS CD ドライバは、CD ドライブの製造元から提供されます。

CONFIG.SYS ファイルと AUTOEXEC.BAT ファイルに指定されている CD ドライブの論理ファイル名が、CDROM または CDINST でないことを確認します。

- 2 CONFIG.SYS ファイルに、**FILES=50** コマンドと **BUFFERS=30** コマンドが指定されていることを確認します。

- 3 (状況によって実行) ネットワーク上のファイルからインストールする場合は、Novell Client CD に含まれている Novell Client for DOS and Windows 3.1x または IP Server Connection Utility ソフトウェアをインストールします。

インストールプログラムのファイルにアクセスできると、インストールを開始できます。

## ソフトウェアのインストール

インストールを開始するには、次を実行します。

- 1 NetWare 6 オペレーティングシステム CD を挿入するか、またはネットワークにログインし、ネットワーク上のインストールファイルにアクセスします。
- 2 CD ドライブまたはネットワークドライブのプロンプトに対して、「**INSTALL**」と入力します。

### データベースの画面内を移動する

インストールプログラムの初期画面は、テキストベースモードで表示されます。各画面には、自動検出された設定とデフォルト設定が表示されます。

検出された設定とデフォルト設定は、そのまま使用することも、ネットワーク環境に合わせて変更することもできます。

ヒント：標準設定でインストールを続行するには、矢印キーで [Options] ボックスの [Continue] を選択し、<Enter> を押します。

設定を変更するには、矢印キーで [Options] ボックスの [Modify] を選択し、<Enter> を押します。変更するフィールドを選択し、<Enter> を押します。目的の値を選択または入力します。

画面によっては、インタフェース間を移動するために、その他のキー入力を行う必要があります。画面移動に関する情報は、各画面の下部に表示されます。

### インストールタイプと地域設定の選択

インストールタイプを選択し、地域設定を選択するには、次を実行します。

- ◆ 言語を選択し、使用許諾契約に同意する
- ◆ インストールタイプを選択する
- ◆ サーバ設定を指定する
- ◆ 地域設定を選択する
- ◆ マウスタイプとビデオタイプを選択する

## 言語を選択し使用許諾契約に同意する

インストールプログラムは、複数の言語に対応しています。インストールプログラムの中では、オペレーティングシステムの言語やユーザの言語など、他の言語オプションを後からインストールできます。

各使用許諾契約に同意するということは、使用許諾契約に含まれている条項を読んで同意したことを意味します。同意するには、<F10>を押します。

## インストールタイプを選択する

### 高速インストールまたはカスタムインストール

#### 高速インストール

高速インストールでは、ドライバが自動的に検出され、デフォルト設定の NetWare サーバとデフォルトのソフトウェアプログラムがインストールされます。設定の内容は次のとおりです。

- ◆ 4GB の SYS: ボリューム (残りのディスク容量は空き容量になります)
- ◆ LAN ドライバとディスクドライバ: 自動的に検出されロードされます
- ◆ デフォルトの製品がインストールされます
- ◆ カントリーコード: 1
- ◆ コードページ: 437
- ◆ ビデオモード: VGA Plug N Play
- ◆ キーボード: 米国
- ◆ マウス: 自動的に検出されロードされます

#### カスタムインストール

カスタムインストールでは、ネットワーク環境に適した特定の設定オプションを選択できます。

## 新しいサーバ、アップグレード、またはマイグレーション準備サーバ

NetWare は、新しいコンピュータにインストールすることも、NetWare 4 または NetWare 5 が動作している既存のコンピュータからアップグレードすることもできます。

NetWare Installation

Welcome to the NetWare server installation.

Select the type of installation. A new installation will destroy existing data on NetWare partitions. To keep data, select Upgrade.

IMPORTANT: You must run NetWare Deployment Manager before installing into an existing network. If you have not, insert the NetWare 6 CD into a Windows workstation and run NWDEPLOY.EXE.

Is this an express install or custom install? **Custom**

Is this a new server, upgrade, or pre-migration? **New Server**

Options

Continue  
Modify

Alt+F10=Exit                      Enter=Select/View                      F1=Help

- ◆ [New Server] — 新しいサーバをインストールします。新しい NetWare パーティションが作成されますが、システムパーティションや DOS、UNIX\*、Windows などの他のパーティションは削除されません。

高速インストールを選択する場合は、[47 ページの「サーバの名前指定」](#)に進んでください。

- ◆ [Upgrade] — 以前のバージョンの NetWare が動作している既存のサーバをアップグレードする場合は、[Upgrade] を選択します。アップグレードの場合、ファイル、ディレクトリ構造、パーティション、ボリュームなどのすべてのサーバデータは保持されます。

[Upgrade] を選択する場合は、サーバの環境設定によっては、この章のセクション全体を省略できます。

- ◆ [Pre-Migration] — マイグレーション準備サーバは、NetWare Migration Wizard を使用して、あるサーバから別のサーバにデータを移行するときに使用します。詳細については、『[NetWare Migration Wizard 6 管理ガイド](#)』を参照してください。

インストールタイプを選択するには、[Options] ボックスの [Modify] を選択し、<Enter> を押します。インストールタイプを選択し、[Options] ボックスに戻って操作を続けます。

## サーバ設定を指定する

ネットワーク環境に合わせて、次のデフォルトサーバ設定を変更できません。

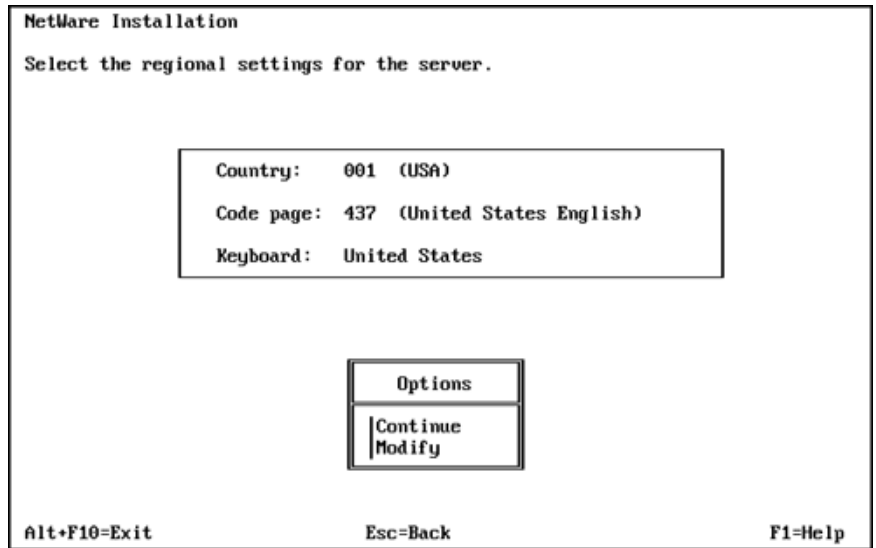
- ◆ **[Server ID Number]** — ネットワーク上のサーバを識別する一意なサーバ識別番号です (最大 8 桁の 16 進数)。サーバ ID 番号は、内部 IPX 番号と同じように機能します。サーバ ID 番号は自動的に作成されますが、次のいずれかの状況でインストールしている場合は、特定のサーバ ID 番号の入力が必要になる可能性があります。
  - ◆ **フィルタ済み環境** — ネットワークセグメント間のルータは、特定のコンピュータアドレスからのデータのみを転送するように設定できます。他のコンピュータアドレスから送信されるデータは、別のセグメントに転送されません。

注: 別のネットワークセグメント上のサーバからインストールファイルにアクセスしている場合は、フィルタリングされていないサーバ ID 番号を指定しない限り、サーバに再接続してインストールを実行できません。
  - ◆ **番号付け方式** — ネットワーク管理者によっては、特定の場所や組織内のサーバを識別するために、番号付け方式をあらかじめ決めてあります。たとえば、ビル A 内のすべてのサーバは 0101 で始まり、ビル B 内のすべてのサーバは 0102 で始まります。

IP のインストールを選択し、IPX のインストールを選択しない場合は、SERVERID 参照は使用されず、AUTOEXEC.NCF ファイルから削除されます。サーバをインストールした後も、AUTOEXEC.NCF ファイル内の **SERVERNAME** コマンドの後に **SERVERID 8\_digit\_number** コマンドを追加することで、IPX を追加できます。

- ◆ **[Load Server at Reboot]** — コンピュータのリブート時にサーバオペレーティングシステムを自動的にロードするコマンドを AUTOEXEC.BAT ファイルと CONFIG.SYS ファイルに設定しない場合は、[No] を選択します。[Yes] (デフォルト) を選択すると、以前の AUTOEXEC.BAT ファイルと CONFIG.SYS ファイルの名前が変更され、.00x という拡張子で保存されます。
- ◆ **[Server SET Parameters]** — インストールを完了するには、ネットワークボードやストレージデバイスなどの一部のデバイスドライバについて、SET パラメータを変更しなければならない場合があります。SET パラメータは、STARTUP.NCF ファイルに保存されます。
- ◆ **[Startup Directory]** — NetWare サーバを起動するためのファイルが格納されている、DOS パーティション上のディレクトリです (このフィールドは、アップグレード時にのみ表示されます)。

## 地域設定を選択する



NetWare Installation

Select the regional settings for the server.

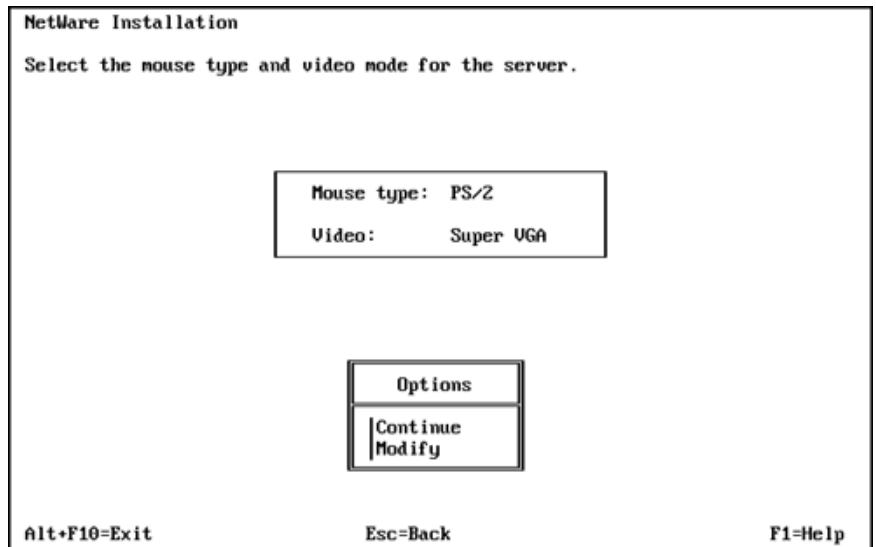
Country:	001 (USA)
Code page:	437 (United States English)
Keyboard:	United States

Options
Continue
Modify

Alt+F10=Exit                      Esc=Back                      F1=Help

使用している言語とコンピュータに合わせて国、コードページ、およびキーボードマッピングを選択します。

## マウスタイプとビデオタイプを選択する



NetWare Installation

Select the mouse type and video mode for the server.

Mouse type:	PS/2
Video:	Super VGA

Options
Continue
Modify

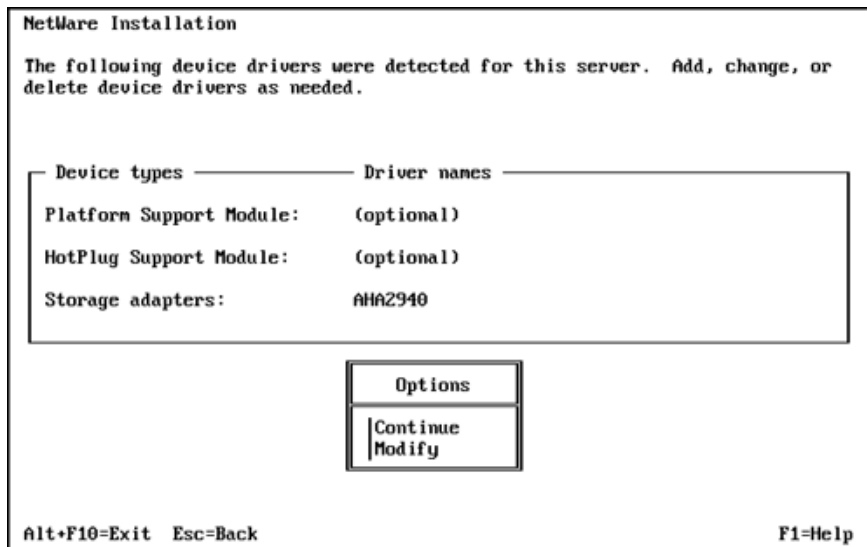
Alt+F10=Exit                      Esc=Back                      F1=Help

- ◆ [Mouse Type] — コンピュータ上で利用可能な場合は、マウスタイプを選択します。インストールプログラムがサポートするのは USB、PS/2、およびシリアルマウスタイプです。ただし、マウスは必須ではありません。
- ◆ [Video] — NetWare インストールプログラムは、VESA 2 準拠のビデオディスプレイハードウェアでの表示が最適化されています。  
注: ビデオタイプは、インストールプログラムによって自動的に検出されません。コンピュータに適した設定を選択する必要があります。

## プラットフォームサポートモジュールとストレージアダプタの選択

プラットフォームサポートモジュールとストレージアダプタを選択するには、次を実行します。

- ◆ プラットフォームサポートモジュールを選択する (必要な場合)
- ◆ PCI ホットプラグモジュールを選択する (必要な場合)
- ◆ ストレージアダプタを選択し、設定する



ドライバを追加するには、[Options] ボックスの [Modify] を選択します。ドライバフィールドを選択し、<Enter> を押します。<Insert> を押し、NetWare で提供されるドライバのリストから選択します。ディスクからドライバをインストールするには、再び <Insert> を押します。

ドライバを削除するには、[Options] ボックスの [Modify] を選択します。ドライバフィールドを選択し、<Enter> を押します。削除するドライバを選択し、<Delete> を押します。

ドライバを変更するには、[Options] ボックスの [Modify] を選択します。ドライバフィールドを選択し、<Enter> を押します。変更するドライバを選択し、<Enter> を押します。変更するプロパティを選択します。

## プラットフォームサポートモジュールを選択する ( 必要な場合 )

プラットフォームサポートモジュール (PSM) を使用すると、マルチプロセッサコンピュータと一部の特定のハードウェア設定においてパフォーマンスが向上します。PSM ドライバが必要な場合は、ドライバの検出が自動的に行われます。インストールプログラムが PSM ドライバを検出しない場合は、コンピュータにとってドライバは必要ありません。

注: マルチプロセッサでないコンピュータ上で PSM ドライバが検出される場合、ドライバをロードしてもパフォーマンスは低下しません。

## PCI ホットプラグモジュールを選択する ( 必要な場合 )

PCI ホットプラグテクノロジーをサポートするコンピュータでは、コンピュータが起動している状態で、ストレージアダプタやネットワークボードを着脱できます。インストールプログラムによって PCI ホットプラグサポートモジュールが検出されない場合、そのコンピュータでは PCI ホットプラグテクノロジーがサポートされていない可能性があります。

## ストレージアダプタを選択する

ストレージアダプタは、コンピュータと、1 台以上のストレージデバイス間のリンクを提供します。ストレージアダプタがコンピュータ ( ホスト ) と通信するためには、ホストアダプタモジュール (HAM) と呼ばれるソフトウェアドライバが必要です。ストレージデバイスには、カスタムデバイスモジュール (CDM) と呼ばれる別のドライバが必要です。

注: .DSK ドライバはもはやサポートされません。代わりに、NWPA (NetWare Peripheral Architecture™) の拡張機能が使用されています。NWPA では、HAM と CDM が必要です。

1 つのアダプタで複数のタイプのストレージデバイスを制御できます。このため、コンピュータが複数のタイプのストレージデバイスを搭載しており、複数の CDM を持つ場合でも、必要な HAM は 1 つだけの場合があります。

インストールプログラムは、IDE アダプタや SCSI アダプタなど、多くのタイプのストレージアダプタを自動的に検出します。ストレージアダ

プタが検出されない場合は、NetWare で提供される利用可能なドライバのリストから該当するドライバを選択するか、またはディスクから新しいドライバを追加します。HAM は、ストレージアダプタの製造元から入手できます。

## ストレージアダプタのプロパティを編集する (必要な場合)

ストレージアダプタは、正しくインストールし、設定する必要があります。割り込み、ポート値、スロットなどのプロパティは、コンピュータ内の他のデバイスと競合させないでください。特定のストレージアダプタプロパティが必要な場合は、ストレージアダプタの製造元に問い合わせてください。

## ストレージデバイスとネットワークボードの選択

ストレージデバイスとネットワークボードを選択するには、次を実行します。

- ◆ ストレージデバイスを選択し、設定する
- ◆ ネットワークボードを選択し、設定する
- ◆ NetWare Loadable Module プログラムをロードする (必要な場合)

The screenshot shows a terminal window titled "NetWare Installation". The text inside reads: "The following device drivers were detected for this server. Add, change, or delete device drivers as needed." Below this is a table with two columns: "Device types" and "Driver names". The table lists: "Storage devices:" with "SCSIHD", "Network boards:" with "3C90X", and "NetWare Loadable Modules:" with "(optional)". At the bottom of the table area is an "Options" box containing "Continue" and "Modify". At the very bottom of the terminal window, it says "Alt+F10=Exit Esc=Back" on the left and "F1=Help" on the right.

Device types	Driver names
Storage devices:	SCSIHD
Network boards:	3C90X
NetWare Loadable Modules:	(optional)

Options  
Continue  
Modify

Alt+F10=Exit Esc=Back F1=Help

ドライバを追加するには、[Options] ボックスの [Modify] を選択します。ドライバフィールドを選択し、<Enter> を押します。<Insert> を押

し、NetWare で提供されるドライバのリストから選択します。ディスクからドライバをインストールするには、再び <Insert> を押します。

ドライバを削除するには、[Options] ボックスの [Modify] を選択します。ドライバフィールドを選択し、<Enter> を押します。削除するドライバを選択し、<Delete> を押します。

ドライバを変更するには、[Options] ボックスの [Modify] を選択します。ドライバフィールドを選択し、<Enter> を押します。変更するドライバを選択し、<Enter> を押します。変更するプロパティを選択します。

## ストレージデバイスを選択する

ハードディスク、CD ドライブ、テープデバイスなどのストレージデバイスがストレージアダプタと通信するためには、ソフトウェアドライバが必要です。ストレージデバイスのソフトウェアドライバは、カスタムデバイスモジュール (CDM) と呼ばれます。ストレージデバイスのタイプごとに CDM が必要です。

インストールプログラムは、IDE ドライブ、SCSI ドライブ、CD ドライブ、テープドライブなど、多くのタイプのストレージデバイスを自動的に検出します。ストレージデバイスが検出されない場合は、NetWare 6 で提供される利用可能なドライバのリストから該当するドライバを選択するか、またはディスクから新しいドライバを追加します。CDM は、ストレージデバイスの製造元から入手できます。

## ネットワークボードを選択する

Novell NE3200™ ボードなどのネットワークボードがネットワークと通信するためには、ソフトウェアドライバが必要です。ネットワークボードのソフトウェアドライバは、LAN ドライバと呼ばれます。

インストールプログラムは、多くのタイプのネットワークボードを自動的に検出します。ネットワークボードが検出されない場合は、NetWare 6 が提供するリストから該当するネットワークボードのドライバを選択するか、またはディスクから新しいドライバを追加します。LAN ドライバは、ネットワークボードの製造元から入手できます。

## ネットワークボードのプロパティを編集する (必要な場合)

ネットワークボードは、正しくインストールし、設定する必要があります。割り込み、ポート値、スロットなどのプロパティは、コンピュータ内の他のデバイスと競合してはなりません。特定のネットワークボードプロパティが必要な場合は、ネットワークボードの製造元に問い合わせてください。

## NetWare Loadable Module をロードする ( 必要な場合 )

サーバやネットワークの環境設定によっては、サーバのインストールを完了するために、NLM (NetWare Loadable Module) をロードしなければならない場合があります。たとえば、トークンリング環境でのインストールの場合は、ROUTE.NLM をロードします。

## ネットワークパーティションと SYS: ボリュームの作成

パーティションは、NetWare、DOS、UNIX などのオペレーティングシステムに対応しています。パーティションは、大規模なストレージ領域を、より管理しやすい小さな領域に分割します。単独のストレージデバイスに、最大 4 つのパーティションを含めることができます。

NetWare パーティションは、ボリュームと呼ばれるさらに小さいセクションに分割できます。各 NetWare パーティションには、最大 8 つのボリュームを含めることができます。

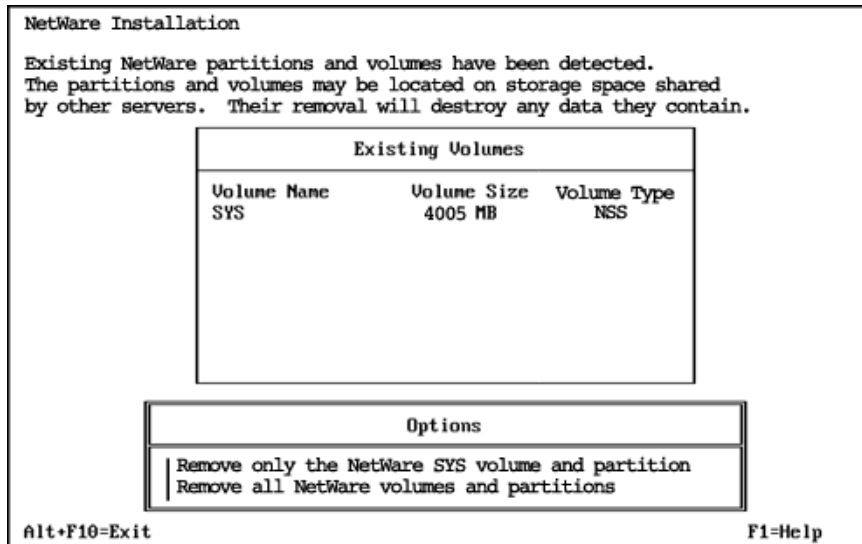
NetWare パーティションと SYS: ボリュームを作成するには、次を実行します。

- ◆ 既存の SYS: ボリュームを削除する ( 状況によって実行 )
- ◆ NetWare パーティションを作成する
- ◆ SYS: ボリュームを作成する
- ◆ NetWare パーティションと SYS: ボリュームのサイズを設定する ( 必要な場合 )
- ◆ SYS: ボリュームのプロパティを変更する ( 必要な場合 )

## 既存の SYS: ボリュームを削除する ( 状況によって実行 )

以前のインストールによってコンピュータにすでに SYS: ボリュームがある場合は、ボリュームとそのすべてのデータが削除されます。

**重要:** SYS: ボリューム上のデータを保持するには、インストールプログラムを終了して再起動し、[Type of Installation] 画面の [Upgrade] を選択する必要があります。



新しいサーバのインストール中に SYS: ボリュームを削除する場合は、次のいずれかのオプションを選択する必要があります。

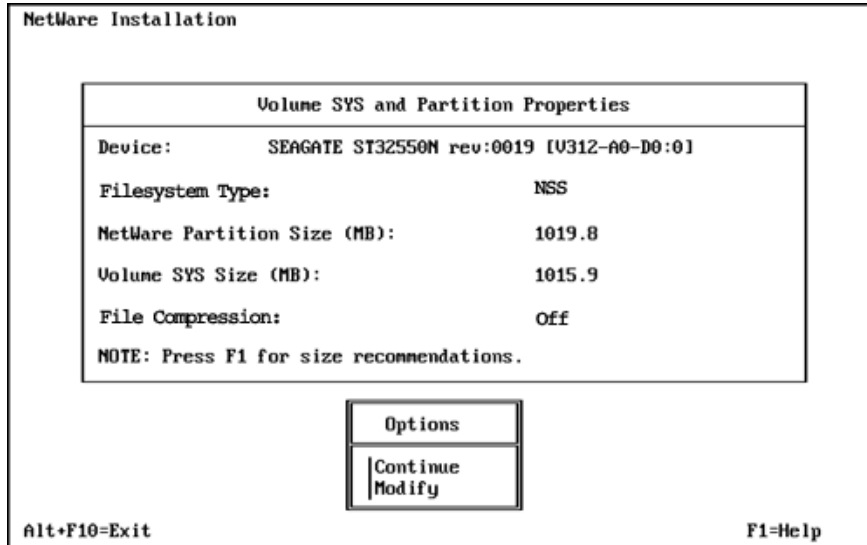
- ◆ [Replace Volume SYS: and its NetWare Partition] — 既存の SYS: ボリュームと、SYS: ボリュームを含む NetWare パーティション全体を削除します。SYS: ボリュームを含む NetWare パーティションに属するボリュームは、ボリュームが他の NetWare パーティションにわたる場合でも、すべて削除されます。
- ◆ [Remove All NetWare Volumes and NetWare/NSS Partitions] — すべての NetWare ボリュームとすべての NetWare/NSS パーティションを削除します。
- ◆ [Remove All but Shared Volumes and Partitions] — このオプションは、サーバ上で共有ストレージが検出された場合のみ使用できます。

どのオプションも、NetWare パーティションのみを削除します。DOS、UNIX、システム/ユーティリティパーティションなど、別のタイプのパーティションは削除されません。

## SYS: ボリュームを作成する

インストールの初期段階では、インストールプログラムが指示する手順に従って、SYS: ボリュームを含む NetWare パーティションを1つ作成します。これは、従来のボリュームよりも多くの利点を持つ、NSS (Novell Storage Services) ボリュームとして作成されます。

NetWare 6 オペレーティングシステムでは、27 ページの「システム要件」に示されている要件を満たす SYS: ボリュームが必要です。



**SYS: ボリュームのサイズ** —NetWare パーティションに指定するサイズが、SYS: ボリュームのサイズとして使用されます。

SYS: ボリュームのサイズを変更するには、[Options] ボックスの [Modify] を選択します。適切なストレージデバイスを選択します。[NetWare Partition Size] フィールドを選択し、<Enter> を押します。<Backspace> を押して現在のサイズを消去します。新しいサイズを入力し、<Enter> を押します。SYS: ボリュームのサイズが、それに応じて変更されます。<F10> を押して設定を保存し、操作を続行します。

サーバにボリュームを追加する予定の場合は、NetWare パーティションと SYS: ボリュームのサイズを減らして、他のボリュームが利用できるディスク容量を確保します。

追加のボリュームは、インストールプログラムの実行時、またはインストールが終了した後で、ConsoleOne™ を使用して作成できます。

ヒント: 通常のサーバインストールでは NSS SYS: ボリュームが推奨されますが、<F5> を押すと、従来の SYS: ボリュームを作成できます。

## まとめ

NetWare システムファイルが、SYS: ボリュームにコピーされます。

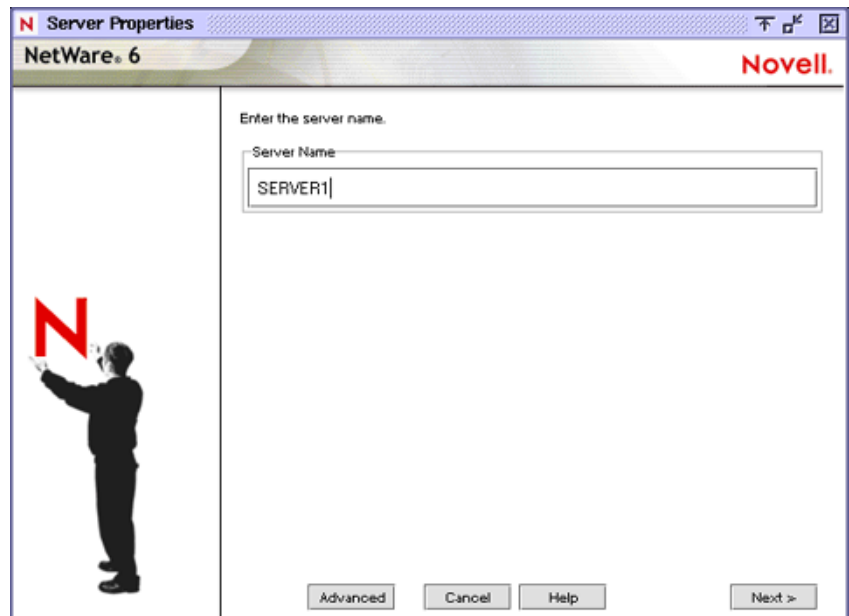
ネットワークからインストールしている場合は、ネットワークへの再接続が指示されます。インストールを続行するには、元々ログインしたユーザのパスワードを入力します。

NetWare インストールプログラムは、グラフィカル表示モードで続行します。

## サーバの名前指定

NetWare サーバ名は、eDirectory ツリー上のどのサーバ名とも重複させないでください。名前は 2 ～ 47 文字の英数字で指定します。アンダースコア ( ) とハイフン (-) は使用できますが、空白は使用できません。先頭の文字にはピリオド (.) は使用できません。

**重要:** サーバ名は、eDirectory ツリーに使用する名前とは異なる名前を指定する必要があります。



マウスの使用を推奨しますが、表 1 のキーボードコマンドを使用して、インストールプログラムの中を移動することもできます。カーソルの移動には、数値キーパッドの矢印キーを使用します。

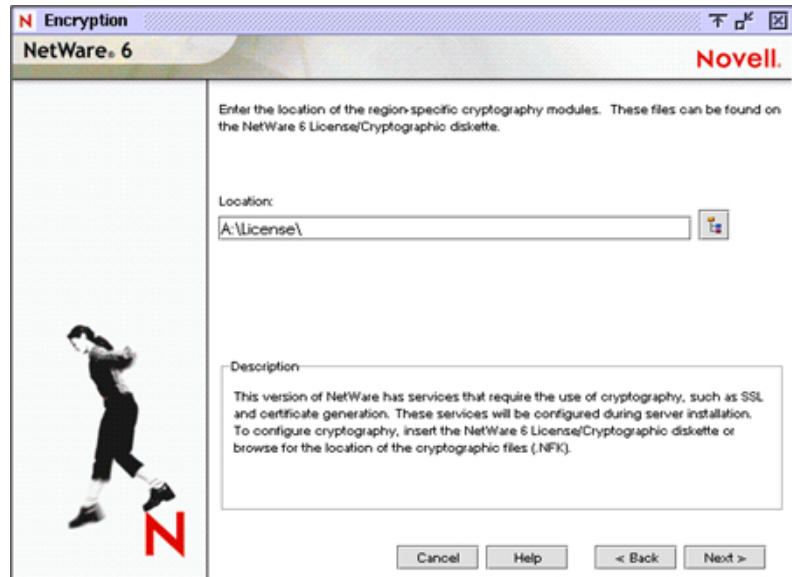
ヒント：キーパッドでカーソル移動を行うには、<NumLock> ( 数値ロック ) をオンにする必要があります。

表 1 グラフィカルモードでのキーボード操作

キー入力	操作
<Tab>	次の要素に移動する
<Shift>+<Tab>	前の要素に移動する
<Enter>	選択する
<Ctrl>+<Tab>	次のテキスト領域に移動する
上矢印 ( キーパッド 8 )	カーソルを上方向に移動する
下矢印 ( キーパッド 2 )	カーソルを下方向に移動する
右矢印 ( キーパッド 6 )	カーソルを右方向に移動する
左矢印 ( キーパッド 4 )	カーソルを左方向に移動する
<Shift> を押しながら キーパッドを押す	カーソル移動を高速化する
キーパッド <5>	オブジェクトを選択またはクリックする
キーパッド <0>	選択したオブジェクトをロックする ( ドラッグ )
キーパッド <.> ( ピリオド )	選択したオブジェクトのロックを解除する ( ドロップ )
キーパッド <+> ( プラス )	オブジェクトをダブルクリックする
<Alt> + <F7>	次のウィンドウに移動する
<Alt> + <F8>	前のウィンドウに移動する

## 暗号化の有効化

テクノロジーによっては、暗号化の使用が必要です。暗号化を有効にするには、NetWare 6 ライセンス / 暗号化ディスクにある暗号化ファイル (.NFK) を設定する必要があります。



暗号化を有効にするには、NetWare 6 ライセンス / 暗号化ディスクを挿入し、License ディレクトリをブラウザして、.NFK ファイルを選択します。

## NetWare サーバファイルシステムのインストール

サーバには、1つのNetWareパーティションと、SYS: という名前の1つのボリュームを作成する必要があります。容量に余裕がある場合は、さらに別のパーティションとボリュームをこの時点で作成できます。

注: 使用可能なすべての容量をSYS: ボリュームに割り当てた場合は、NetWareサーバファイルシステム情報に関するプロンプトは表示されません。53ページの「ネットワークプロトコルのインストール」に進んでください。

NetWare ファイルシステムのインストール時には、次の操作を実行できます。

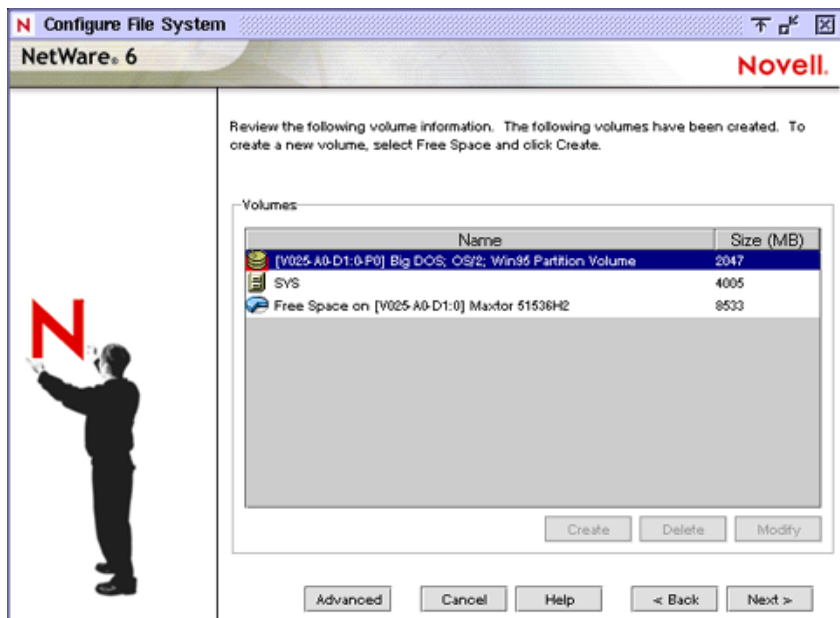
- ◆ 追加のボリュームを作成する
- ◆ ボリュームを変更する
- ◆ ボリュームを削除する

## ボリュームについて

ボリュームを使用すると、パーティションを、より管理しやすい小さい領域に分割できます。ストレージデバイス上の空き容量から、追加のボリュームを作成できます。ボリューム名は、2～15文字の範囲で指定します。名前には、A～Z、0～9、および\_!-@#\$%&()の文字を指定できます。ボリューム名の先頭には、アンダースコア(\_)を使用できません。また、アンダースコアを2つ以上続けて指定しないでください。

作成できるボリュームには、NSS (Novell Storage Services) ボリュームと従来型のボリュームの2種類があります。

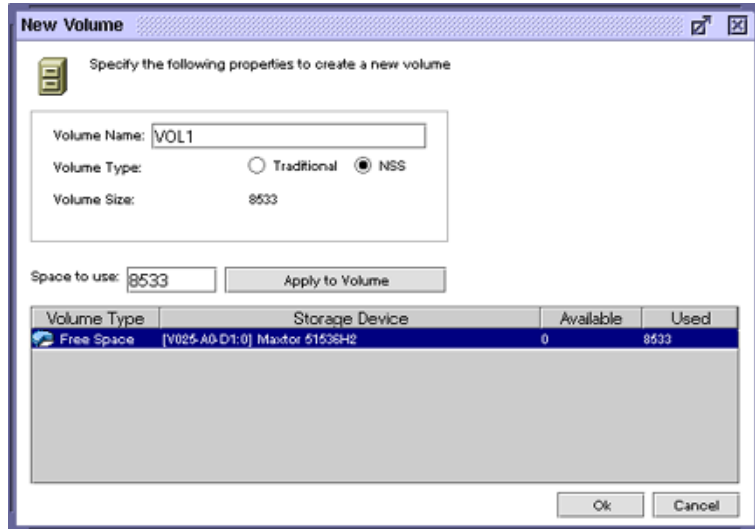
- ◆ **NSS ボリューム**—NSS は、大規模なファイル、大容量のボリューム、ネームスペース、およびストレージデバイスの管理が強化されている、高度なファイルシステムテクノロジーです。NSS を使用すると、大容量のボリュームをマウントするのに必要な時間が大幅に短縮されます。
- ◆ **従来型の NetWare ボリューム**—推奨されるタイプではありませんが、データマイグレーション、FTP (File Transfer Protocol)、VREPAIR、NFS (Network File System)、またはファイル名ロックを使用するときに、従来型の NetWare ボリュームが必要になる場合があります。



## ボリュームを作成する

ボリュームは空き容量から作成します。インストール時に、大容量のディスクを複数のボリュームに分割できます。逆に、ボリュームを複数のディスクに分散することもできます。

警告：2つ以上のストレージデバイスにわたるボリュームを作成することは、お勧めしません。ボリュームが複数のディスクデバイスにわたる場合、デバイスの1つに障害が発生すると、ボリューム全体のすべてのデータが失われることがあります。



ボリュームを作成するには、[Free Space] を選択し、[Create] をクリックします。ボリュームの名前を入力し、[OK] をクリックします。

選択した空き容量の一部分のみをボリュームに割り当てるには、使用する容量を入力し、[Apply to Volume] をクリックします。

## ボリュームを変更する

既存のボリュームのサイズは、増やすことはできますが、減らすことはできません。既存のボリュームのサイズを減らすには、ボリュームを削除し、作成し直す必要があります。

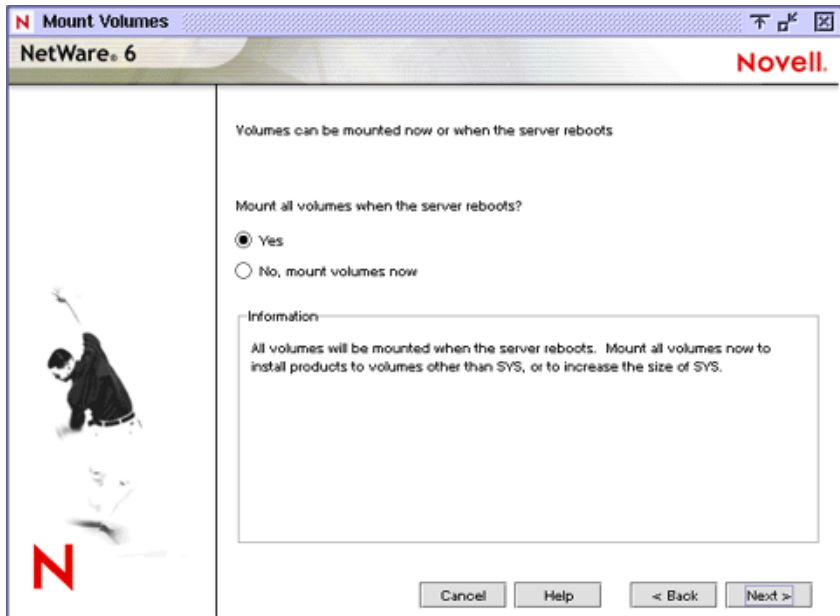
ボリュームのサイズを追加するには、追加の空き容量を選択し、使用する容量を入力して、[Apply to Volume] をクリックします。

## ボリュームを削除する

SYS: ボリュームを除き、作成したボリュームは削除できます。ボリュームを削除すると、そのボリューム上のすべてのデータが失われます。

## ボリュームをマウントする

NetWare からボリュームにアクセスするには、ボリュームをマウントする必要があります。ボリュームは直ちにマウントすることも、インストールの終了時にマウントすることもできます。



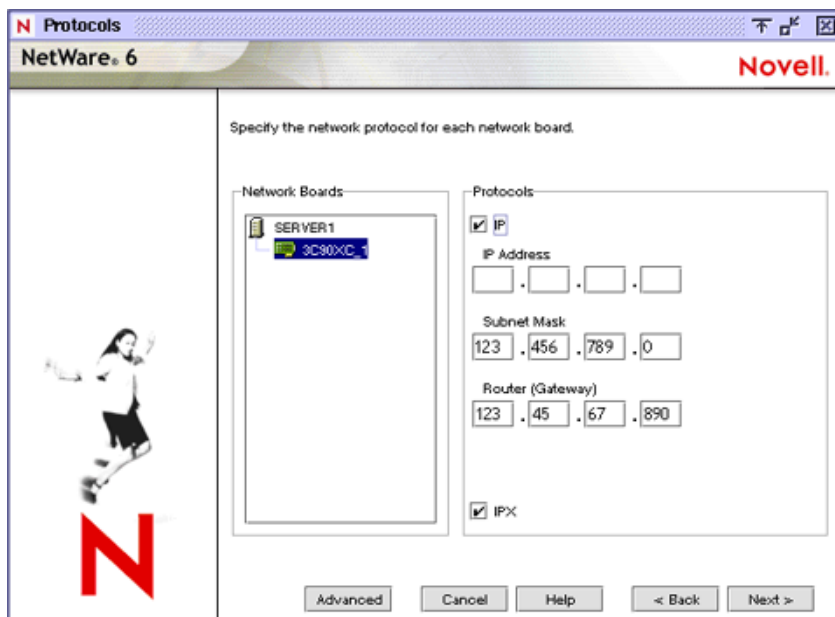
- ◆ 直ちにボリュームをマウントする場合 — マニュアルなど、追加の製品やサービスを SYS: ボリューム以外のボリュームにインストールする予定の場合は、直ちにボリュームをマウントする必要があります。以前の NetWare サーバから移動している場合も、更新するためにはボリュームをマウントする必要があります。
- ◆ インストール終了後にボリュームをマウントする場合 — SYS: ボリュームにのみ製品やサービスをインストールする場合は、インストールプログラムが終了してからボリュームをマウントしてもかまいません。

## NSS ボリュームの NetWare サーバをアップグレードする

NSS ボリュームの NetWare サーバをアップグレードしている場合、NSS ボリュームは、更新されるまで、表示またはマウントされません。NSS ボリュームの更新は、サーバアップグレードの終了後に、[83 ページの「NSS ボリュームを更新する」](#)の指示に従って行います。

## ネットワークプロトコルのインストール

NetWare 6 は、IP (Internet Protocol) ネットワークパケットと従来の IPX (Internetwork Packet Exchange™) パケットを処理できます。両方のプロトコルを、1つのネットワークボードに割り当てることができます。これによって、サーバは IP と IPX を使用して通信できます。



IP をインストールするには、ネットワークボードをクリックし、[IP] チェックボックスをオンにします。必要な IP 情報を入力します。IPX をインストールするには、ネットワークボードをクリックし、[IPX] チェックボックスをオンにします。

IP のインストールを選択し、IPX のインストールを選択しない場合は、SERVERID 参照は使用されず、AUTOEXEC.NCF ファイルから削除されます。サーバをインストールした後でも、AUTOEXEC.NCF ファイル内の **SERVERNAME** コマンドの後に **SERVERID 8\_digit\_number** コマンドを追加することで、IPX を追加できます。

## IP (Internet Protocol) について

ネットワークで IP (Internet protocol) を使用すると、インターネットなど、他の IP ネットワークとデータを共有できます。IP を使用するには、一意な IP アドレス、サブネット、およびルータまたはゲートウェイのアドレスが必要です。

- ◆ [IP Address] — ネットワーク上の各デバイスを識別します。アドレスは 32 ビットで構成され、123.45.67.89 などのようにピリオドで区切られた 10 進数で表されます。

サーバをインターネットに接続する場合は、一意な IP アドレスを取得する必要があります。IP アドレスの取得については、インターネットサービスプロバイダ (ISP) に問い合わせてください。

- ◆ [Subnet Mask] — ネットワークをいくつかの小さいネットワークに分割できます。ネットワークは、含まれるノードが多すぎたり、地理的に広がりすぎていて、1つのネットワークとして管理できないことがあります。

ネットワークを小さなネットワークに分割することで、ネットワークルータは、ノードにおけるネットワークアクティビティをフィルタリングしたり、減らすことができます。ただし、ネットワークを分割し、複数のネットワークアドレスを使用することは、大規模なネットワークを単一のネットワークとして扱う必要があるネットワーク管理者にとっては、適切ではありません。

- ◆ [Router (Gateway)] — LAN とインターネットなど、2つの異なる環境を結ぶルータのアドレスを指定します。

特定のルータ (ゲートウェイ) アドレスを入力することも、ネットワークによって自動的に検出される最も近い位置にあるルータを使用することもできます。アドレスを指定する場合は、ルータが自分と同じネットワークセグメント上に存在している必要があります。

IP をインストールすると、Ethernet\_II フレームタイプに自動的にバインドされます。

IP を選択すると、IPX のパッシブサポートも提供されます。IPX 要求がサーバに到着した場合、NetWare が IPX 要求を処理します。IPX のこのパッシブサポートは互換モードと呼ばれ、自動的に有効化されて、IPX が必要なアプリケーションに対してサービスを提供します。

ヒント: サーバの AUTOEXEC.NCF ファイルから **LOAD SCMD** コマンドを削除することで、互換モードを無効にできます。IPX 互換モードが無効な場合、サーバでは IP パケットのみが処理されます。IPX が必要なアプリケーションは、正しく動作しません。

## IPX について

Novell の従来のプロトコルである IPX (Internetwork Packet Exchange) を使用すると、IPX ベースのアプリケーションを引き続き使用できます。サーバに IPX がインストールされていて、IP はインストールされていない場合は、実際に処理されるのは IPX パケットであり、IP など、他のプロトコルを使用するパケットは無視されます。

インストールプログラムの中で、既存の IPX フレームタイプが検出されます。インストールプログラムが検出するのは、次のいずれかの状態です。

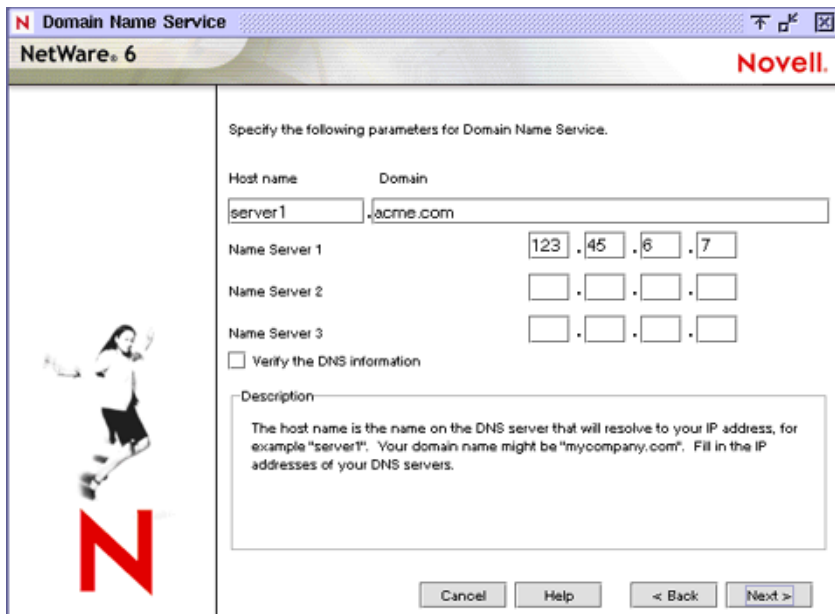
- ◆ **1つのIPXフレームタイプ**—検出されるフレームタイプが1つだけの場合は、それがインストールされます。
- ◆ **複数のIPXフレームタイプ**—複数のIPXフレームタイプが検出される場合は、インストールするフレームタイプの選択が要求されます。
- ◆ **IPX フレームタイプなし** — フレームタイプが検出されない場合は、デフォルトで Ethernet\_802.2 がインストールされます。

## IP と IPX を両方使用する

IPX と IP を必要とするネットワーククライアントやアプリケーションを使用する場合は、両方のプロトコルをインストールできます。両方のプロトコルは、1つのネットワークボードにバインドできます。選択すると、IP と IPX の両方のプロトコルがアクティブにサポートされます。サーバは IP を使用して IP 要求を処理し、IPX を使用して IPX 要求をブロードキャストおよび返信します。

## DNS (Domain Name Service) の設定

IP プロトコルでは、123.45.56.89 などのように、割り当てられた IP アドレスを基に、コンピュータやシステムを識別します。DNS (Domain Name Service) を使用すると、ネットワーク上の特定のサーバに、IP アドレスに対応する、単純でわかりやすい名前のリストを設定できます。名前ではなく IP アドレスが必要なアプリケーション (またはプロトコル) は、DNS サーバを使用して、一方の形式から他方の形式に変換できます。



ヒント：このサーバをインターネット上で使用しない場合は、この画面をスキップして、関連するエラーメッセージを無視してかまいません。

このサーバをインターネット上で使用する場合は、次を入力する必要があります。

- ◆ **ホストコンピュータ**—このNetWareサーバの名前(またはネットワークボードにバインドした名前)に対応する、DNSサーバ上の単純で理解しやすい名前。

ヒント：NetWareサーバ名を使用するには、DNSサーバ上にホストコンピュータ名を設定します。

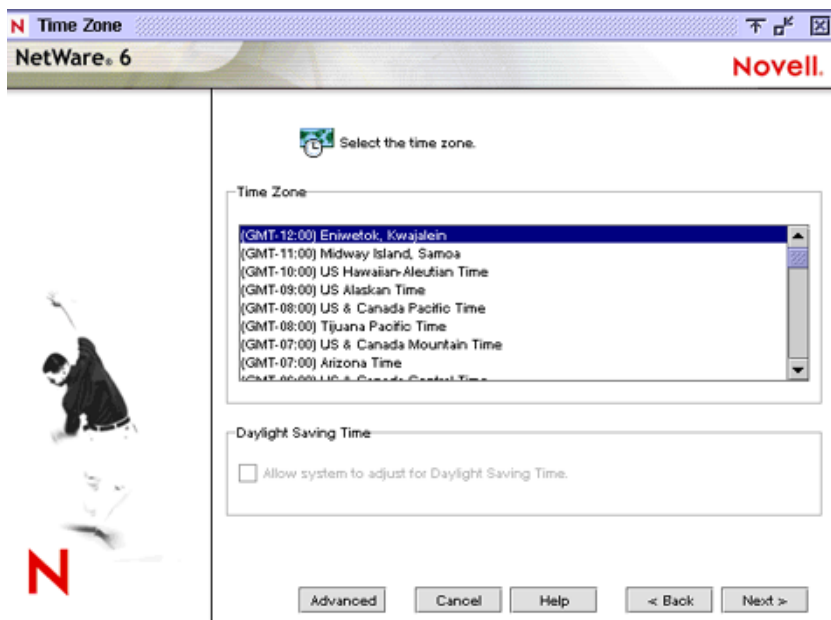
- ◆ **ドメイン名**—acme.com などのように、ネットワークの構造を表す階層名。
- ◆ **ドメインネームサーバ**—このNetWareサーバの単純でわかりやすい名前とIPアドレスで構成されるリストを管理する、DNSサーバのIPアドレス。詳細については、ネットワーク管理者またはインターネットサービスプロバイダに問い合わせてください。

## NetWare サーバを DNS サーバとして設定する (オプション)

NetWare サーバは、標準のサービスに加えて、DNS サービスを提供するように設定できます。DNS サーバのセットアップは、NetWare サーバのインストールが終了した後に行います。

## サーバ時間帯の設定

サーバの時刻と時間帯は、ネットワークイベントを同期する上で重要です。インストールの [Customize] セクションでは、詳細な時刻同期の設定を指定できます。



## Novell eDirectory の設定

Novell eDirectory は、すべてのネットワークリソースに対するグローバルなアクセスを提供します。eDirectory によって、適切なアクセス権を持つユーザは、ネットワークにログインし、ネットワークリソースを表示およびアクセスできます。

サーバやプリンタなどのネットワークリソースは、eDirectory ツリー内で階層的に表示されます。ユーザは、特定のサーバにログインするのではなく、1つのログイン名とパスワードを使用して、eDirectory ツリーにログインします。

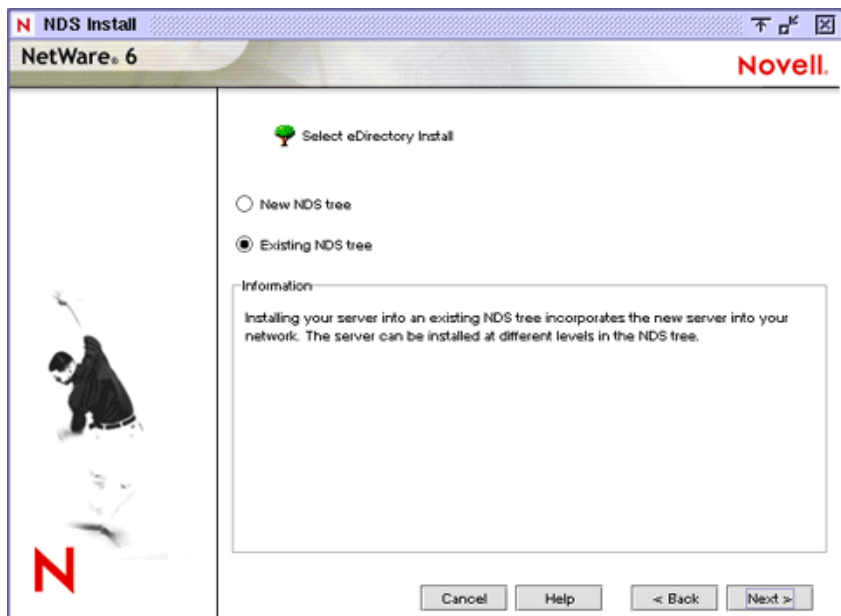
## eDirectory インストールのタイプを選択する

eDirectory を設定するには、次のいずれかのオプションを選択する必要があります。

- ◆ 既存の eDirectory ツリーにサーバをインストールする
- ◆ 新しい eDirectory ツリーを作成する

この操作を行う前に、eDirectory ツリー、コンテナ、およびコンテキストに関する概念を理解しておく必要があります。

- ◆ **ツリー名**—使用可能なネットワークリソースのトップレベルであり、ネットワーク上の他の eDirectory ツリー名とは重複させないでください。
- ◆ **コンテナ**—サブディレクトリと同様の役割を果たすものであり、ネットワークオブジェクトを格納します。サーバは、組織 (O) と部門 (OU) の 2 種類のコンテナオブジェクトにインストールできます。
- ◆ **コンテキスト**—DOS ディレクトリパスと同様の役割を果たすものであり、eDirectory ツリー内のネットワークオブジェクトのフルパスを表します。たとえば、NetWare サーバが、Acme という名前の組織 (O) の下にある、Sales という名前の部門 (OU) にインストールされているものとします。コンテキストは、OU=Sales.O=Acme または Sales.Acme と表されます。



## 既存の eDirectory ツリーにサーバをインストールする

既存の eDirectory ツリーにサーバをインストールすると、サーバがネットワークに組み込まれます。

サーバは、スーパーバイザ権を持つ eDirectory ツリー内の組織 (O) コンテナまたは部門 (OU) コンテナにインストールできます。コンテナは、インストールプログラムの中で作成できます。ログインし、コンテナに対するスーパーバイザ権を持つユーザのコンテキスト、ユーザ名、およびパスワードを入力することが要求されます。

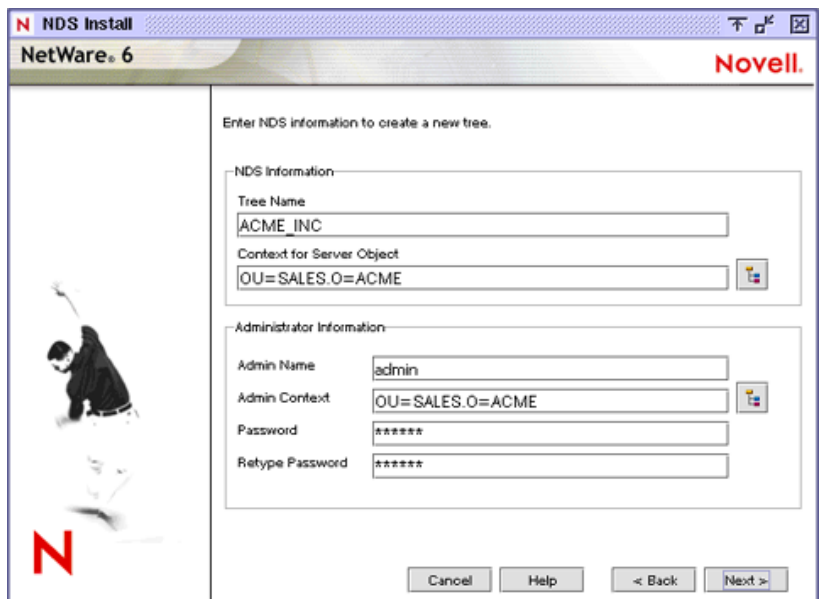
**重要:** 既存の eDirectory ツリーに初めて NetWare 6 サーバをインストールする場合は、NetWare Deployment Manager ユーティリティの [Network Preparation] セクションを終了しておく必要があります。

NetWare Deployment Manager (NWDEPLOY.EXE) は、NetWare 6 オペレーティングシステム CD 上にあり、Windows ワークステーションから実行します。

すべてのサーバ上の eDirectory ツリーを更新しても、NDS 8 用にネットワークがまだ準備されていない場合は、スキーマの変更が要求されます。プロンプトに対して、eDirectory ツリー全体の管理者の名前とパスワードを指定する必要があります。

## 新しい eDirectory ツリーを作成する

新しいネットワークを作成している場合、またはこのサーバが個別の eDirectory ツリーを必要とする場合は、新しいツリーを作成します。新しいツリーで使用可能なリソースは、新しいツリーにログインしたユーザだけが使用できます。

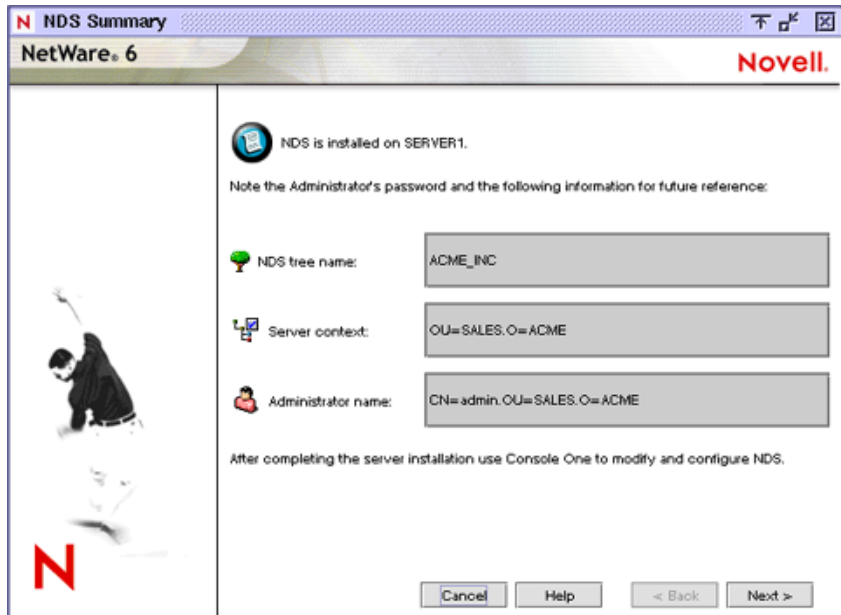


The screenshot shows the 'NDS Install' window for NetWare 6. The title bar includes the Novell logo and window controls. The main content area is titled 'Enter NDS information to create a new tree.' and contains two sections: 'NDS Information' and 'Administrator Information'. The 'NDS Information' section has a 'Tree Name' field with 'ACME\_INC' and a 'Context for Server Object' field with 'OU=SALES.O=ACME'. The 'Administrator Information' section has an 'Admin Name' field with 'admin', an 'Admin Context' field with 'OU=SALES.O=ACME', a 'Password' field with '\*\*\*\*\*', and a 'Retype Password' field with '\*\*\*\*\*'. At the bottom, there are buttons for 'Cancel', 'Help', '< Back', and 'Next >'. A large red 'N' logo is visible on the left side of the window.

各 eDirectory ツリーは、ネットワーク上の他の eDirectory ツリーと重複しない名前にする必要があります。スーパーバイザ権を持つユーザ (デフォルト名は Admin) の作成、eDirectory コンテキストの識別、およびパスワードの割り当ても要求されます。

## まとめ

新しい eDirectory ツリーが作成された状態、または既存の eDirectory ツリーにサーバがインストールされた状態であり、指定したコンテナに NetWare サーバオブジェクトとボリュームオブジェクトがインストールされます。



新しい eDirectory ツリーを作成した場合は、eDirectory ツリーに対するスーパーバイザ権を持つユーザ (デフォルト名 Admin) が、NetWare サーバオブジェクトと同じ eDirectory コンテナに作成されます。

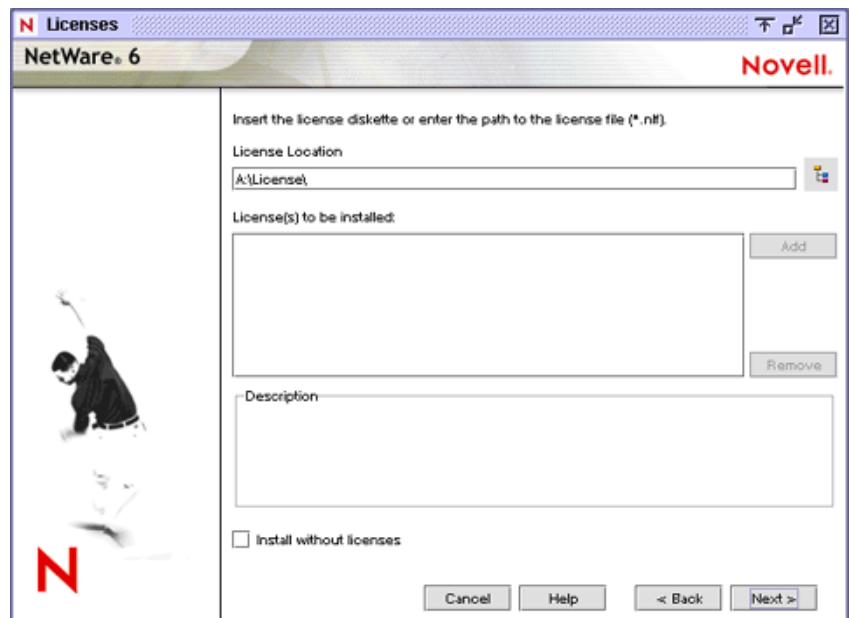
**重要:** 操作を続行する前に、管理者のパスワードとその他の関連情報を記録しておいてください。

## NetWare サーバのライセンス

NetWare 6 がサーバとして動作するためには、正しいライセンスが必要です。ライセンスは、NetWare 6 ライセンス / 暗号化ディスクからインストールするか、NetWare 6 ライセンスが格納されているディレクトリをブラウズします。

インストールの開始時にすでにライセンスをインストールした場合は、そのライセンスを使用することも、別のライセンスをインストールすることもできます。

[Install without Licenses] — ライセンスがなくてもサーバをインストールできますが、ライセンスを持たないサーバの場合、使用できるユーザ接続は2つだけです。インストールの後でも、iManage ユーティリティを使用すると、追加のライセンスをインストールできます。

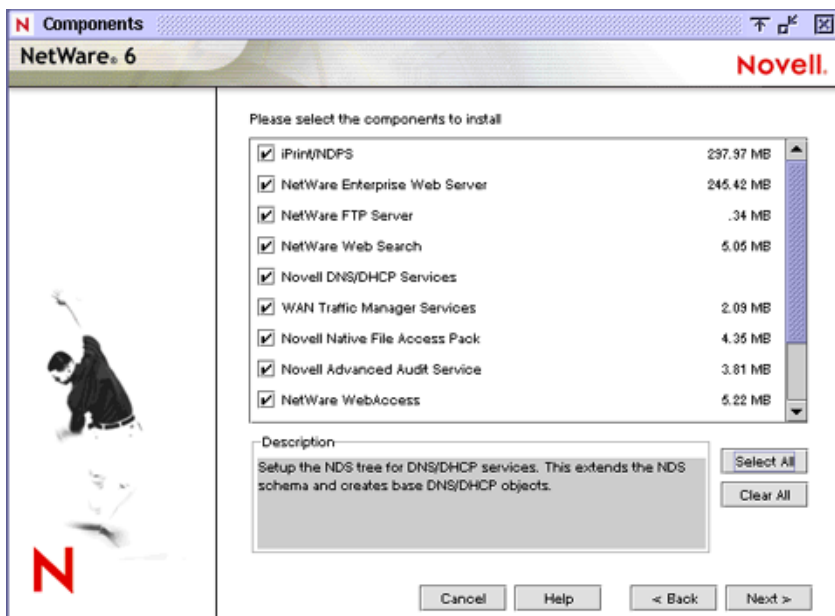


入力を求められたら、ライセンスをインストールするツリー内の場所を選択します。

## ネットワーク製品のインストール

NetWare サーバのインストールが終了すると、インストールする他のネットワーク製品を選択できます。他のネットワーク製品によって、ネットワーク管理やインターネットアクセスなど、NetWare 6 に拡張機能が与えられます。

注：一部の製品は、サーバのインストールの終了後に、NetWare Deployment Manager を使用してのみインストールできます。



インストールする製品は各自で選択できますが、デフォルトですでに選択されている製品をインストールすることで、NetWare にとって推奨される機能が得られます。

NetWare 製品の詳細については、11 ページの第 1 章「NetWare 6 へようこそ」を参照してください。

インストールを選択した製品によっては、次のセクションのステップを実行しなければならない場合があります。製品はインストールされますが、多くの製品で、サーバインストール後に、追加の設定を行う必要があります。

各製品で必要な設定の詳細については、[NetWare 6 マニュアルのサイト \(http://www.novell.com/documentation/japanese/nw6p/index.html\)](http://www.novell.com/documentation/japanese/nw6p/index.html) にある、NetWare 6 マニュアルに含まれている各製品のマニュアルを参照してください。

## IP ベースサービスを設定する ( 状況によって実行 )

ポートの割り当てとアドレスは競合しないようにしてください。  
NetWare 6 内のいくつかのポート番号の割り当ては、あるサービスから別のサービスに、再割り当てできます。その他のポート番号は、再割り当てできません。

**Configure IP-based Services**

You have selected to install multiple IP-based services that are typically installed on separate servers. You can use a single IP address for these services if you modify the default port numbers, or you can retain the default port numbers and specify multiple IP addresses. Please click Help for additional information.

Single IP Address  
 Multiple IP Addresses

NetWare Enterprise Web Server

123	.456	.789	.012	toddsoluster2.toddo.com	80	443
-----	------	------	------	-------------------------	----	-----

Apache-based Services

123	.456	.789	.012	toddsoluster2.toddo.com	51080	51443
-----	------	------	------	-------------------------	-------	-------

Novell iFolder Storage Services

123	.456	.789	.012	toddsoluster2.toddo.com	52080	52443
-----	------	------	------	-------------------------	-------	-------

Cancel Help < Back Next >

デフォルトのポート割り当て、再割り当てできるポート、および再割り当てできないポートについては、『Novell Web Services の使用』の「**ポート番号の割り当て**」を参照してください。

## Novell Certificate Server をインストールする

Novell Certificate Server により、データを保護し、安全に伝送できるようになります。NetWare Web Manager や NetWare Enterprise Web Server などの Web 関連製品には、Novell Certificate Server が必要です。Novell Certificate Server では、セキュリティコンテナオブジェクトと組織の CA ( 認証局 ) オブジェクトを作成することによって、デジタル証明書を作成、発行、および管理することができます。

ネットワークに組織の CA オブジェクトがない場合は、最初の NetWare 6 サーバによって、eDirectory ツリー全体のセキュリティコンテナオブジェクトと組織の CA オブジェクトが自動的に作成され、物理的に保存されます。どちらのオブジェクトも eDirectory ツリーの [Root] に作成され、移動せずに作成時の位置にそのまま保管する必要があります。

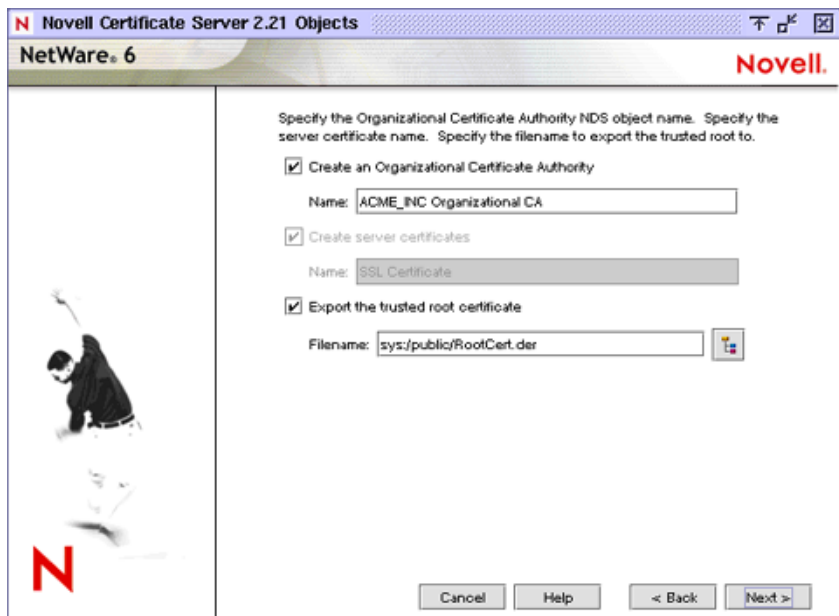
1 つの eDirectory ツリー内には 1 つの組織 CA オブジェクトしか指定できません。最初のサーバ上にすでに作成されている組織 CA オブジェクトを、別のサーバに移動することはできません。組織 CA オブジェクトを削除したり、再作成すると、その組織 CA に関連する証明書はすべて無効になります。

サーバが、組織の CA オブジェクトを永続的に保管するサーバであり、ネットワークの一部として継続して接続され、信頼性が高く、アクセス可能であることを確認します。

セキュリティコンテナオブジェクトと組織の CA オブジェクトを作成するには、eDirectory ツリーの [Root] に対する権利を持つユーザとしてログインする必要があります。

組織 CA オブジェクトがネットワーク上にすでに存在する場合、インストールプログラムは、そのオブジェクトを保持しているサーバを検索して参照します。インストールプログラムは、セキュリティコンテナにアクセスし、サーバ証明書オブジェクトを作成します。

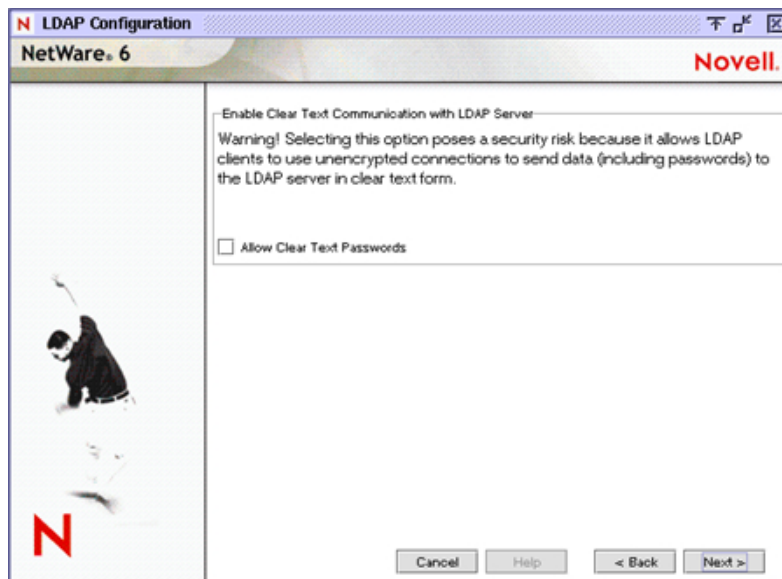
セキュリティコンテナにアクセスし、サーバ証明書オブジェクトを作成するには、既存のセキュリティコンテナオブジェクトに対する読み込み権を持つユーザとしてログインする必要があります。



ネットワーク上で組織の CA オブジェクトを使用できない場合、NetWare Web Manager や NetWare Enterprise Web Server などの Web 関連製品は動作しません。

## LDAP を設定する

LDAP サービスに対して、TCP ポート番号と SSL ポート番号を設定できます。サーバのインストールが終了した後も、ConsoleOne を使用してポートを設定できます。



[Allow Cleartext Passwords] オプションのデフォルト設定 (オフ) ではクリアテキストパスワードが許可されていないので、eDirectory ユーザは SSL 接続以外ではバインドできません。ただし、バインドに失敗する前に、送信されたパスワードはサーバで受信されます。このため、バインドに失敗した場合でも、eDirectory ユーザ名とパスワードはキャプチャできます。

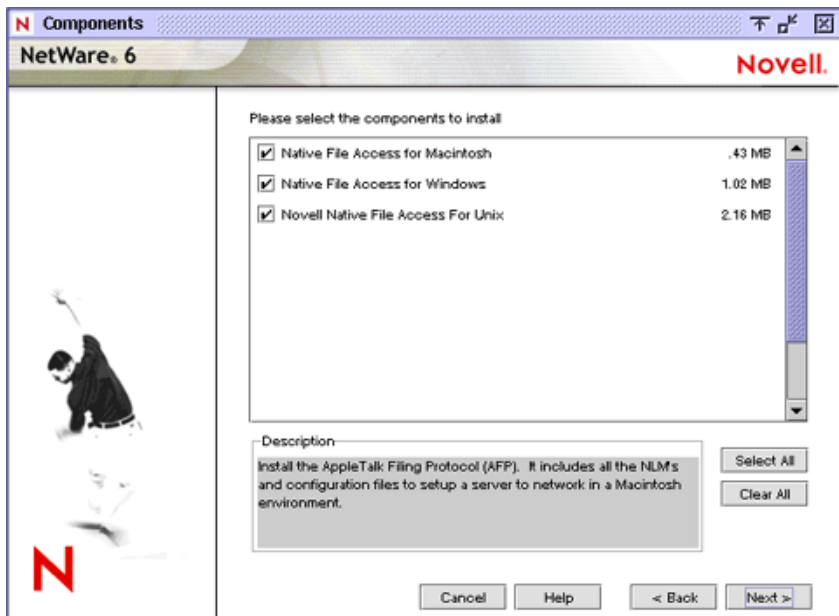
デフォルトでは、SSL 接続で交換されるパスワードのみ暗号化されています。[Allow Cleartext Passwords] チェックボックスをオンにすると、パスワードを含む要求が、暗号化されていない接続上を送信されます。暗号化されていないパスワードは、ネットワーク監視機器によってキャプチャできます。このため、環境によっては、クリアテキストパスワードは、セキュリティ上のリスクを伴います。

## Novell Native File Access Protocols をインストールする

Novell Native File Access Pack を使用すると、Macintosh、Windows、および UNIX ワークステーションは、Novell Client ソフトウェアなどのソフトウェアを新たにインストールすることなく、NetWare サーバ上のファイルをアクセスおよび保存できます。NetWare サーバにのみソフトウェアをインストールすることで、「優れた」ネットワークアクセスが提供されます。ネットワークケーブルを差し込み、コンピュータを起動するだけで、ネットワーク上のサーバにアクセスできます。クライアントの設定もクライアントソフトウェアも必要なく、何も問題はありません。

### ネイティブプロトコルについて

Novell Native File Access Pack ソフトウェアを使用すると、NetWare サーバは、クライアントワークステーションと同じプロトコル（「ネイティブ」と呼びます）を使用して、ファイルをコピー、削除、移動、保存、および開くことができます。Windows ワークステーションはこれらの操作をネイティブの CIFS (Common Internet File System) プロトコルを使用して実行し、Macintosh ワークステーションではネイティブの AFP (Apple\* Filing Protocol) を使用します。UNIX コンピュータは NFS プロトコルを使用します。

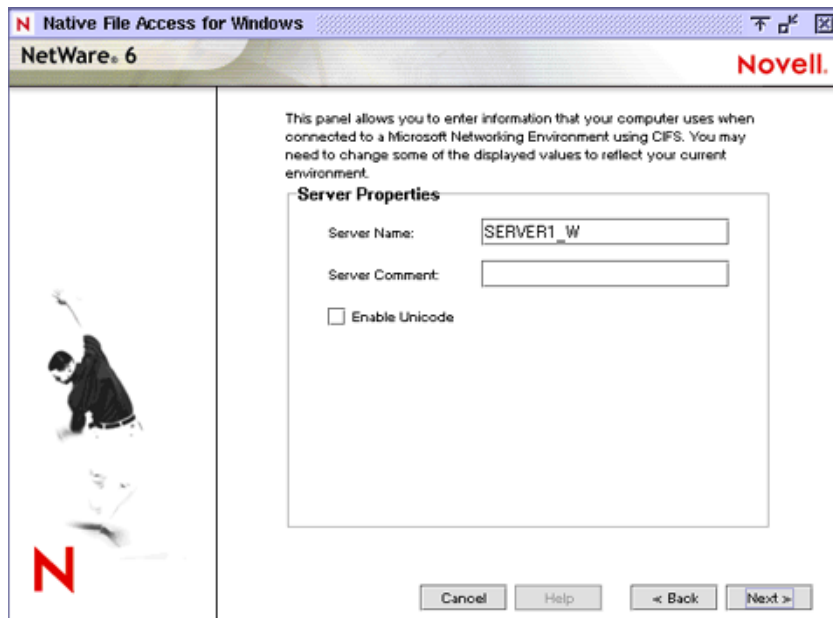


## ユーザにとっての Novell Native File Access Protocols の利点

NetWare 上でネイティブプロトコルを有効にすると、ユーザは、各自のオペレーティングシステムで利用できるネイティブの方法を使用して、ファイルへのアクセス、ネットワークドライブのマップ、および NetWare サーバへのショットカットの作成を行うことができます。Windows ユーザは、使い慣れている [ネットワークコンピュータ] を使用できます。Macintosh ユーザは、[セレクト] メニューや [移動] メニューを使用して、ネットワークファイルにアクセスしたり、エイリアスを作成することもできます。NetWare サーバはネイティブプロトコルを実行しているので、ユーザは、ローカルで作業しているかのように、ネットワークファイルをコピー、削除、移動、保存、および開くことができます。

## Windows ワークステーションのサーバプロパティを設定する

NNFAP サーバ名、NNFAP サーバコメント、および Unicode の設定を指定することによって、Windows ワークステーションから NetWare サーバがどのように見えるかを決定できます。



### NNFAP サーバ名

[NNFAP Server Name] フィールドに指定する名前は、Novell Client ソフトウェアを持たない Windows ワークステーションがネットワークをブラウズするときに表示されるサーバ名です。各自で名前を変更できます

が、その名前は NetWare サーバ名と異なっている必要があり、15 文字を超えてはなりません。デフォルトの NNFAP サーバ名は、NetWare サーバ名にアンダースコア ( ) と W が追加された形式です。たとえば、NetWare サーバ名が SERVER1 の場合、デフォルトの NNFAP サーバ名は SERVER1\_W です。

## NNFAP サーバコメント

[NNFAP Server Comment] フィールドのテキストは、Windows ワークステーションから NNFAP サーバの詳細を表示するときに表示されます。

## Unicode を有効にする

[Enabling Unicode] チェックボックスがオンの場合、ダブルバイト言語で使用されている Unicode 文字が有効になります。Unicode をサポートするには、UNINOMAP.TXT という名前のファイルを新しく作成し、SYS:ÆETC ディレクトリに保存する必要があります。

UNICODE が有効の場合、UNINOMAP.TXT ファイルが使用されて、Unicode と ASCII の「マップなし」問題が解決されます。UNINOMAP.TXT ファイルの中で「マップなし」ケースを指定するには、最初に問題の Unicode 値を入力し、次に対応する ASCII コードを表す値を入力します。次に例を示します。

0178 98

20AC CC

UNINOMAP.TXT ファイルに値を保存します。マップできない文字が発生した場合は、ファイルに指定されている ASCII 置換文字が使用されます。

## Windows ワークステーションの認証方法を選択する

次のいずれかのツールを選択します。

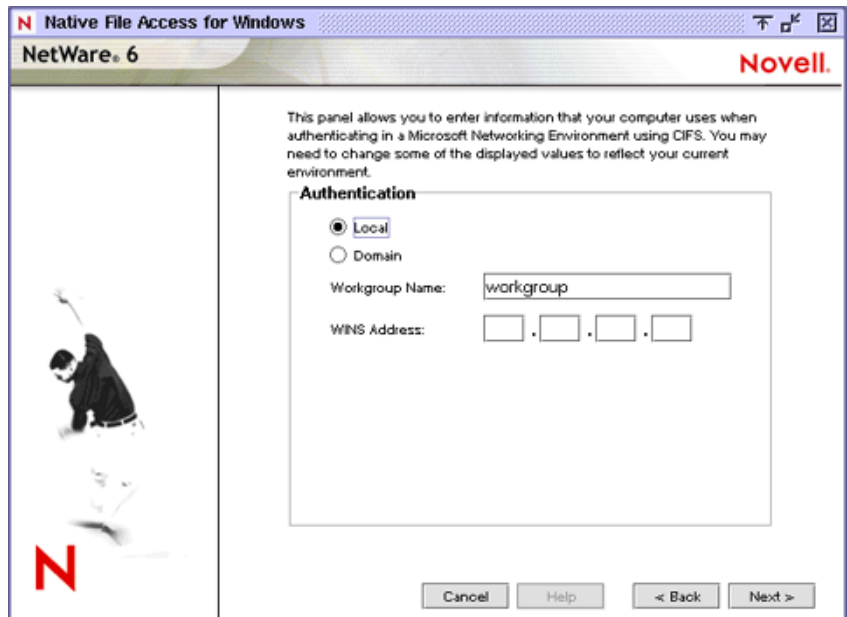
- ◆ ユーザが NDS を使用して認証する場合は、[Local] を選択します。
- ◆ ユーザがドメインを使用して認証する場合は、[Domain] を選択します。

Windows ユーザの場合、Novell Native File Access に対して、ローカルとドメインの 2 種類の認証方法を使用できます。ローカル認証では、NetWare サーバにログインするために単純なパスワードが要求されますが、ドメイン認証では、単純なパスワードは要求されません。

## ローカル認証

Novell Native File Access Protocol ソフトウェアが動作しているサーバでは、クライアントがワークグループのメンバーであるときに、ユーザ認証

が実行されます。ローカル認証の場合、NetWare 上のユーザ名とパスワードが、Windows ワークステーションにログインするときに使用したユーザ名とパスワードに一致する必要があります。



[Workgroup Name] : サーバが属するドメインまたはワークグループ。このケースでは、[Workgroup] と [Domain] が交互に切り替わります。

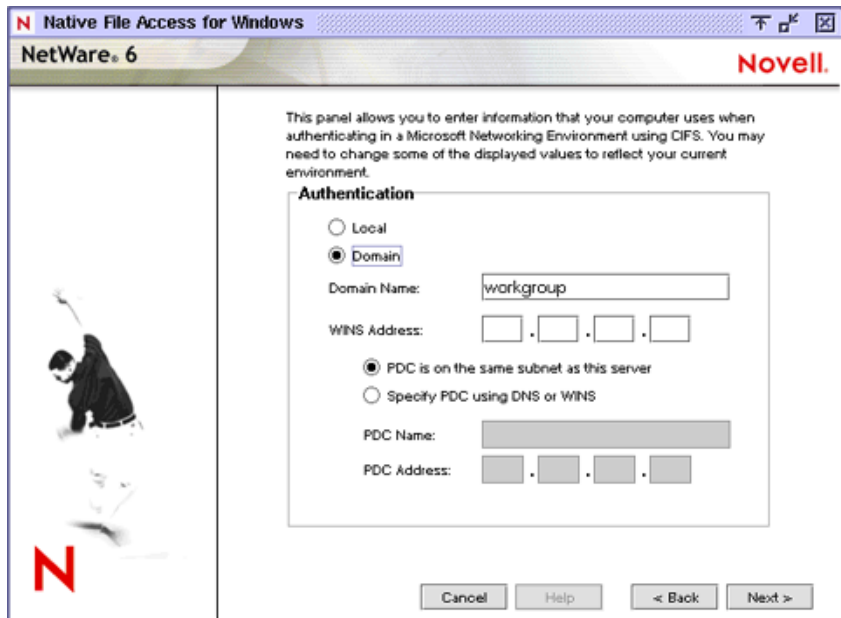
[WINS Address] : PDC (Primary Domain Controller) と、Novell Native File Access Protocols ソフトウェアが動作しているサーバが異なるサブネットにある場合に、PDC を検索するために使用される WINS サーバのアドレス。

Microsoft Windows NT および 2000 のサーバに含まれる WINS (Windows Internet Naming Service) は、ワークステーション名と、IP (Internet Protocol) アドレスに基づく場所の関連付けを管理します。WINS は、コンピュータ名と、対応する IP アドレスマッピングのエントリを自動的に作成し、テーブルに保管します。コンピュータが地理的に異なる場所に移動した場合、IP アドレスのサブネット部分も変わります。WINS を使用すると、新しいサブネット情報が、WINS テーブル内で自動的に更新します。

### ドメイン認証

ドメイン認証では、単純なパスワードは要求されません。パスワードは Windows ドメインコントローラに保管されているので、Windows のネイティブのパスワードの変更機能を使用してパスワードを変更することは

できません。代わりに、Windows のドメイン管理ユーティリティを使用する必要があります。正しく動作するためには、ドメインコントローラ上のユーザ名とパスワードが、Windows ワークステーションにログインするときに使用したユーザ名とパスワードに一致する必要があります。



### PDC が同じサブネット上にある場合

PDC が同じサブネット上にあることを指定します。

### DNS または WINS を使用して PDC を指定する場合

DNS または WINS を使用してプライマリドメインコントローラを指定するには、[Specify PDC using DNS or WINS] をオンにします。

### PDC 名

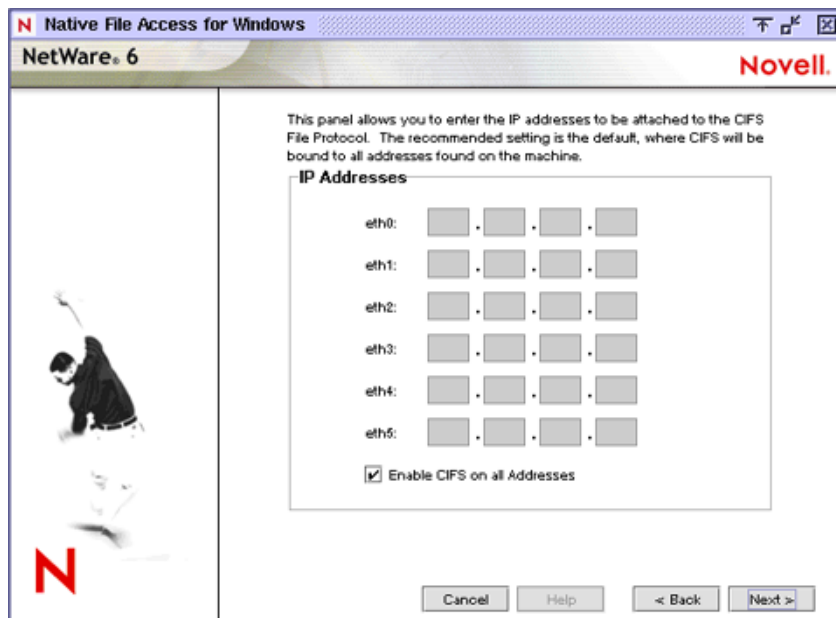
PDC が異なるサブネット上にある場合は、PDC サーバ名と静的 IP アドレスが必要です。このオプションは、WINS または DNS を上書きする正当な理由がある場合に限って使用します。

### PDC アドレス

PDC のアドレスは静的でなければなりません。静的でないで、PDC が再起動してアドレスが変わったときに、Novell Native File Access Protocols ソフトウェアが動作しているサーバは、PDC にアクセスできません。

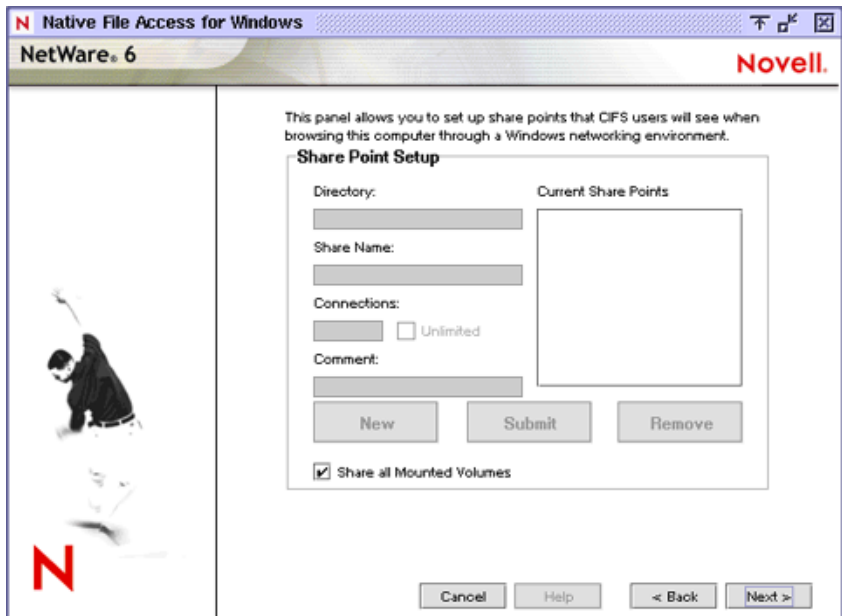
## Windows ワークステーションに対処する IP アドレスを選択する

すべての IP アドレス上で CIFS プロトコルを有効にすることが推奨されますが、CIFS プロトコル要求に応答する IP アドレスを個別に指定することもできます。



## Windows ワークステーションの共有ポイントを指定する

サーバ上のボリュームやディレクトリは、共有ポイントとして指定することで、[ネットワークコンピュータ] や [マイネットワーク] からアクセスできます。共有ポイントが指定されていない場合は、マウントされているすべてのボリュームが表示されます。



## ディレクトリ

共有ポイントのルートとなる、サーバボリュームまたはディレクトリへのパスです。ボリューム名で始まり、フルパスを指定して、円記号 (¥) で終了する必要があります。次に例を示します。

VOL1:GRAPHICS¥

## 共有名

Windows コンピュータに対して表示される共有ポイントの名前です。たとえば、VOL1¥GRAPHICS に関連する共有名として「**Lots of Pics**」を入力すると、ネットワークをブラウズしている Windows ワークステーションでは、「VOL1¥GRAPHICS」ではなく「Lots of Pics」が表示されます。

## 接続

共有ポイントへのアクセスが許可されている接続数です。

## コメント

[ネットワークコンピュータ] や [マイネットワーク] で表示される共有ポイントの説明です。

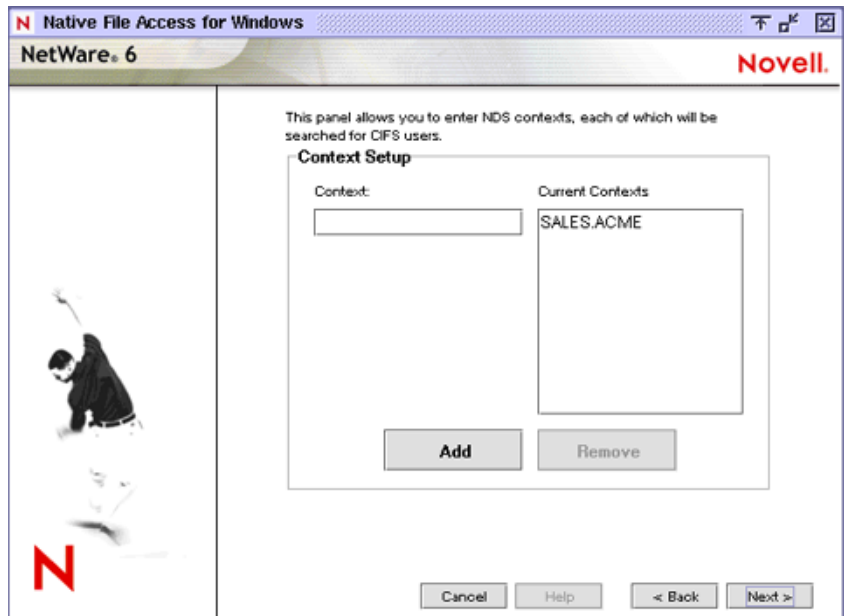
## Windows ワークステーションのコンテキストを設定する

ネットワークへのアクセスが必要な Windows ユーザの、NDS コンテキストを指定する必要があります。これらのコンテキストは、コンテキスト検索ファイルに保存されます。Windows ユーザがユーザ名を入力すると、Novell Native File Access Protocol ソフトウェアは、正しいユーザオブジェクトが見つかるまで、リスト内の各コンテキストを検索します。たとえば、Bob.sales.acme、Sue.graphics.marketing.acme、Pat.graphics.marketing、Jo.marketing.acme など、完全 NDS 識別名を持つユーザがいる場合は、次のコンテキストを入力します。

sales.acme

graphics.marketing.acme

marketing.acme



同じ名前のユーザオブジェクトが異なるコンテキストに存在する場合、各ユーザオブジェクトは、対応するパスワードで成功するまで、順番に認証を試みます。

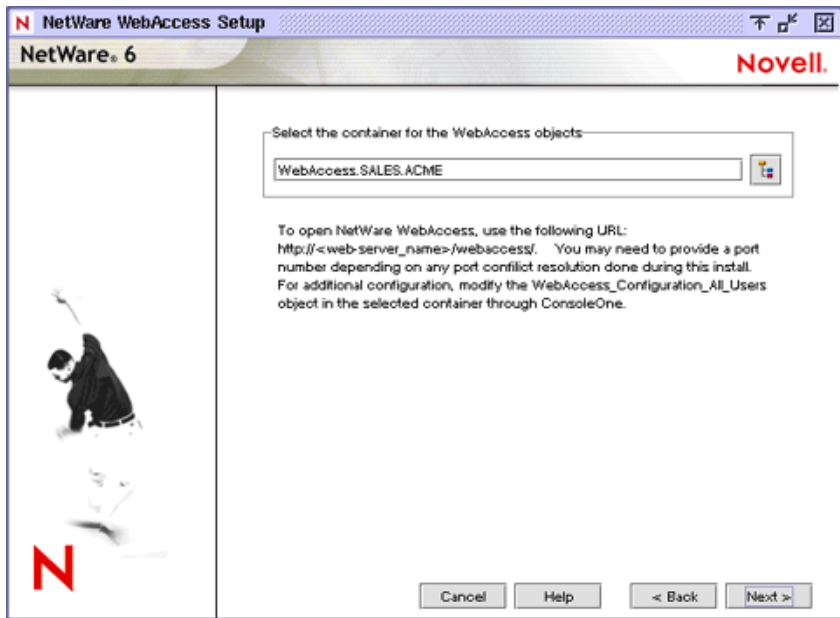
サーバインストールが終了した後でも、Novell Native File Access Protocols が動作しているサーバの SYS:¥ETC ディレクトリにあるコンテキスト検索ファイル (CIFSCTXS.CFG) を編集することによって、コンテキストを追加または削除できます。

## Novell Native File Access Protocols の次のステップ

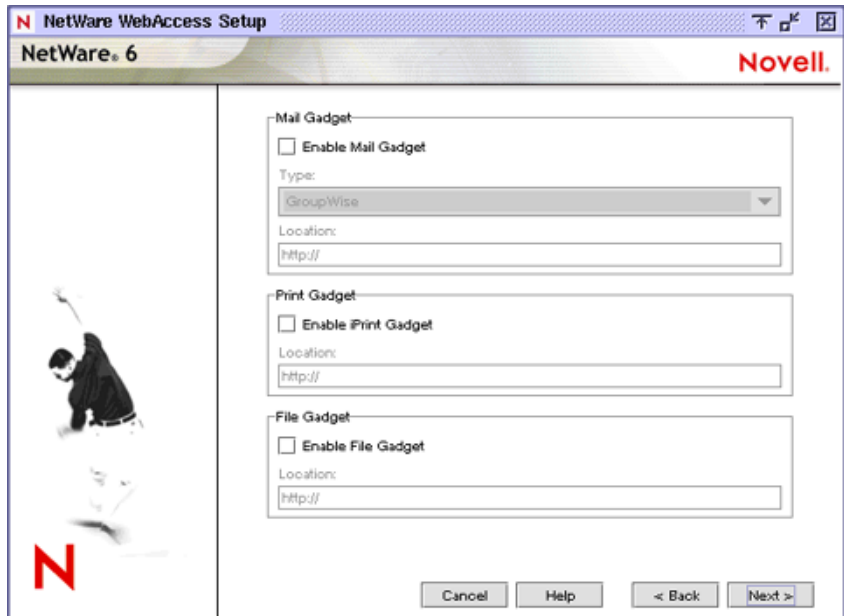
Novell Native File Access Protocols のインストールが終了したら、ユーザがサーバ上のファイルにアクセスできるように、ユーザのパスワードを作成する必要があります。詳細については、『[Novell Native File Access Protocols Installation and Administration Guide](#)』を参照してください。

## NetWare WebAccess を設定する

NetWare WebAccess を使用すると、管理者が設定する Web ページによって、ユーザは各自の Web ブラウザから複数のネットワークリソースにアクセスできます。ユーザがリソースにアクセスするために、Novell Client または VPN クライアントは必要ありません。規格に準拠したブラウザを備えたコンピュータから、Web 上のリソースにアクセスできます。



ネットワーク上の特定のコンテンツへのアクセスを提供するガジェットをとおして、カスタマイズされたコンテンツが提供されます。ガジェットは、適切なバックエンドシステムと通信して特定のユーザにとって必要なデータを収集します。このため、ユーザは1つのパスワードですべてのデータにアクセスできます。詳細については、『[NetWare WebAccess 概要とインストール](#)』を参照してください。



各ガジェットタイプの横のチェックボックスをオンまたはオフにすることによって、直ちに有効化して設定するガジェットと、後で有効化して設定するガジェットを選択します。NetWare WebAccess をインストールすると、すべてのガジェットが自動的にインストールされます。この画面では、そのガジェットを直ちに有効化して設定するのか、または後で有効化して設定するのかを選択できます。

デフォルト設定では、ガジェットを後で有効化して設定します。これは、新しいサーバのインストール時には、ガジェットがアクセスするアプリケーションが、まだインストールされていない可能性があるためです。ガジェットを直ちに有効化して設定する場合は、ガジェットがリンクする各アプリケーションの場所 (URL) を指定する必要があります。

## メールガジェット

### タイプ

メールガジェットを直ちに有効化して設定するには、電子メールタイプを指定する必要があります。[GroupWise]、[Web-based E-mail]、[Exchange]、[Notes]、[NIMS] のいずれかを選択します。

### ロケーション

サービスが動作している Web サーバの URL を指定します。

- ◆ GroupWise® の場合は、URL は `http://IP_address or DNS name/servlet/webacc` の形式です。IP address または DNS name の部分を、GroupWise WebAccess が動作している Web サーバに置き換えます。
- ◆ Web ベースの電子メールの場合は、設定時に IMAP サーバまたは POP3 サーバに割り当てた URL を指定します。
- ◆ Microsoft Exchange の場合は、Exchange サーバにアクセスするための URL を指定します。URL は、`http://192.168.0.1` のような IP アドレスです。
- ◆ Lotus\* Notes\* の場合は、Lotus Notes サーバにアクセスするための URL を指定します。URL は、`showcase2.notes.net` のような形式です。
- ◆ NIMS (Novell Internet Messaging Services) の場合は、NIMS サーバへの URL を指定します。URL は、NIMS をインストールおよび設定したときに作成され、`https://webmail.myrealbox.com` のような形式です。

## プリントガジェット

プリントガジェットを直ちにインストールする場合は、iPrint Web ページへの URL を指定する必要があります。URL は、`http://myserver.com/iPrint/hongkong.htm` のような形式です。

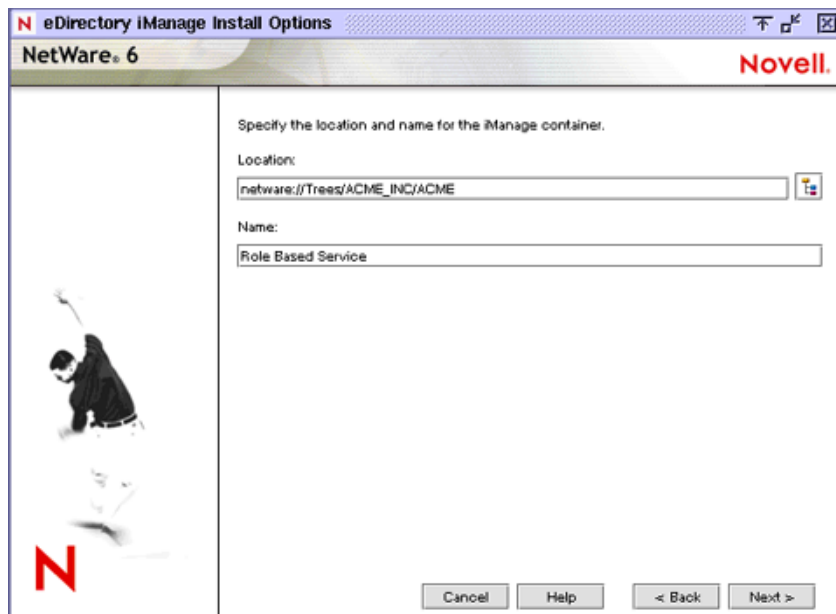
## NetStorage ガジェット

NetStorage ガジェットを直ちにインストールする場合は、NetStorage サーバの位置を指定する必要があります。URL は、`http://myserver.com` のような形式です。NetStorage ガジェットは、NetWare 6 のガジェットコンポーネントを必要とします。このため、NetWare 6 のインストール時に、NetStorage コンポーネントのインストールを選択する必要があります。

## Novell iManage を設定する

iManage はインターネットブラウザの中で動作し、Novell eDirectory オブジェクトを管理および設定するときに使用します。iManage を使用すると、ユーザに特定のタスクや責任を割り当て、その一連のタスクを実行するために必要なツールだけを付随する権利と共に提供できます。

NetWare 6 では、iManage を使用して iPrint、DNS/DHCP、および Novell Licensing Services を管理できます。



The screenshot shows a dialog box titled "eDirectory iManage Install Options" with a "NetWare 6" header and the Novell logo. The main content area is titled "Specify the location and name for the iManage container." It features two input fields: "Location:" with the value "netware://Trees/ACME\_INC/ACME" and "Name:" with the value "Role Based Service". At the bottom, there are four buttons: "Cancel", "Help", "< Back", and "Next >".

インストール時に、役割とタスクがインストールされ、ログインしているユーザ (通常は Admin ユーザ) に関連付けられます。これらの役割オブジェクトとタスクオブジェクトは、新しい eDirectory コンテナ (rbsCollection) に格納されます。新しいコンテナの位置と名前を選択することも、表示されているデフォルト値を使用することもできます。

### 位置

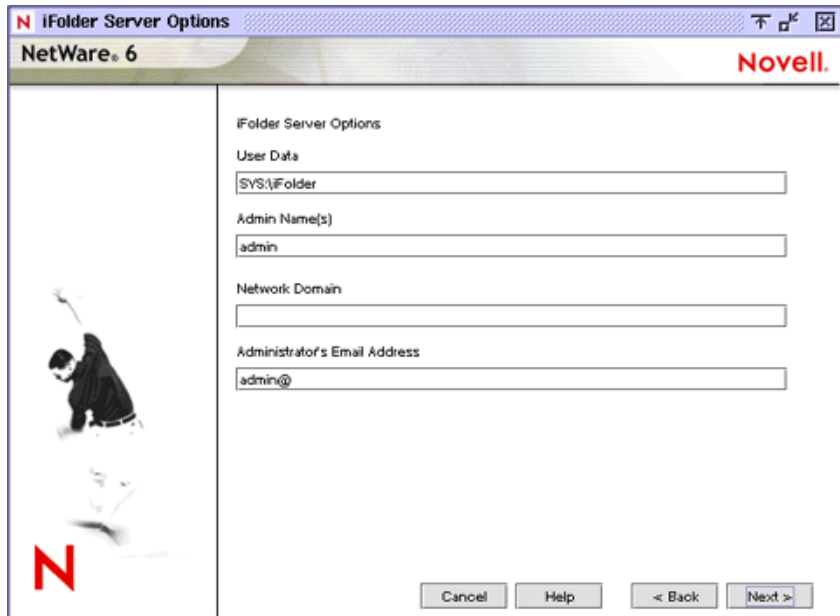
rbsCollection コンテナを作成する eDirectory コンテナへのパスを入力します。デフォルトの位置を使用してもかまいません。

### 名前

rbsCollection の名前を入力します。デフォルトの名前を使用してもかまいません。

## Novell iFolder をインストールする

Novell iFolder は、データの保管および取得に関連して発生する一般的な問題に対する、ファイル保管および管理ソリューションです。iFolder を使用すると、いつでも、普段使用するコンピュータのどこからでも自分のデータの最新バージョンにアクセスできます。通常使用しないコンピュータからでも、インターネット接続および Java が使用可能なブラウザがあれば、ファイルにアクセスして管理できます。詳細については、『[Novell iFolder 管理ガイド](#)』を参照してください。



The screenshot shows the 'iFolder Server Options' dialog box. The title bar indicates 'NetWare 6' and the Novell logo is present. The dialog is divided into two panes. The left pane features a large red 'N' logo and a small image of a person. The right pane is titled 'iFolder Server Options' and contains the following fields:

- User Data:** SYS:\iFolder
- Admin Name(s):** admin
- Network Domain:** (empty)
- Administrator's Email Address:** admin@

At the bottom of the dialog are four buttons: 'Cancel', 'Help', '< Back', and 'Next >'.

### ユーザデータ

iFolder ユーザのデータを格納するサーバのディレクトリのパスを入力します。

### 管理者名

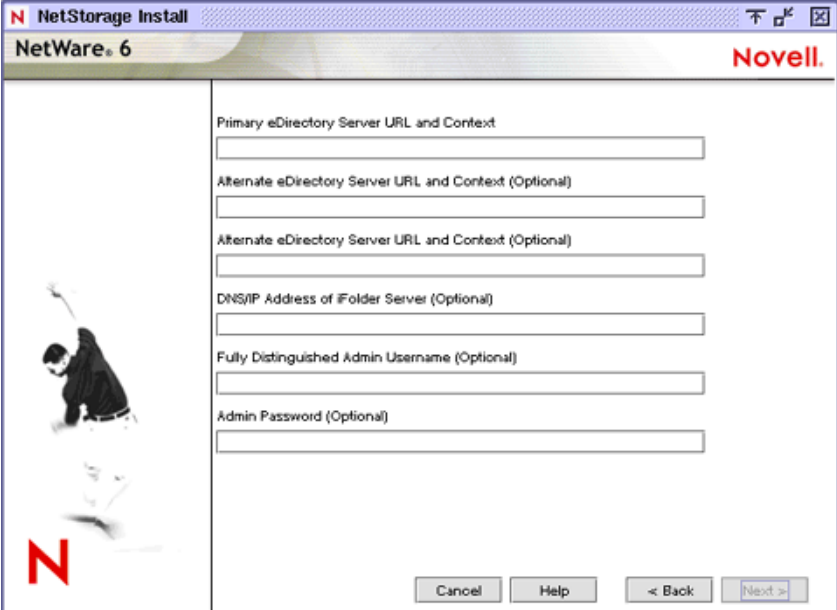
サーバ管理コンソールから iFolder ユーザアカウント情報を変更する権利が必要な、すべての管理者の名前を入力します。複数の名前を入力する場合は、ユーザ名をセミコロン (;) で区切ります。たとえば、John Smith と Admin にサーバ管理コンソールを管理する権利を持たせる場合は、「admin;jsmith」と入力します。

### ネットワークドメイン

iFolder サーバの IP アドレスまたは DNS 名を入力します。

## Novell NetStorage をインストールする

Novell NetStorage によって、ファイル保管への単純なインターネットベースのアクセスが提供されます。Novell NetStorage は、企業の保護されている Novell ネットワークとインターネットをつなぐ役割を果たします。ユーザは、自分のワークステーションに何もダウンロードしたりインストールすることなく、任意のインターネットロケーションから、安全にファイルにアクセスできます。Novell ネットワーク上のファイルとフォルダは、ブラウザまたは Microsoft Web Folders を使用してアクセスできます。



### プライマリ eDirectory サーバの DNS 名または IP アドレスとコンテキスト

eDirectory のマスタレプリカまたは読み書き可能レプリカを持つ、eDirectory ツリー内のサーバの IP アドレスまたは DNS 名を指定します。NetStorage が正しく動作するためには、プライマリ eDirectory サーバの URL が必要です。これは、必ずしも NetStorage がインストールされるサーバの IP アドレスや DNS 名である必要はありません。

ユーザがログインを試みると、NetStorage は、指定するサーバ上の eDirectory データベースを検索して、ユーザオブジェクトを見つけます。ユーザオブジェクトが見つからない場合、NetStorage は、eDirectory に対するユーザの認証を試みます。

NetStorage を使用するユーザの eDirectory コンテキストがわかっている場合は、IP アドレスまたは DNS 名と eDirectory コンテキストの間にコロン (:) を挿入することによって、そのコンテキストを URL に追加できます。コンテキストの指定は省略できます。コンテキストが指定されていない場合、NetStorage は、プライマリ eDirectory サーバ上の eDirectory ツリー全体を検索してユーザオブジェクトを見つけます。たとえば、サーバの IP アドレスが 127.0.0.1 で、ユーザの eDirectory コンテキストが Personnel の場合、フィールドには「127.0.0.1:personnel」と入力します。

### 代替 eDirectory サーバの DNS 名または IP アドレスとコンテキスト (オプション)

このオプションのテキストボックスには、少なくとも読み書き可能な eDirectory レプリカを持つ、ディレクトリツリー内の他のサーバの代替 IP アドレスまたは DNS 名を指定します。代替 eDirectory サーバの URL とコンテキスト設定は、2 つ追加できます。

この代替設定は、プライマリ eDirectory サーバの URL とコンテキストを使用して eDirectory 認証を実行できない場合に使用されます。代替 URL およびコンテキスト設定の指定は省略してもかまいませんが、指定することによって、NetStorage への新たなレベルのアクセスがユーザに提供されます。

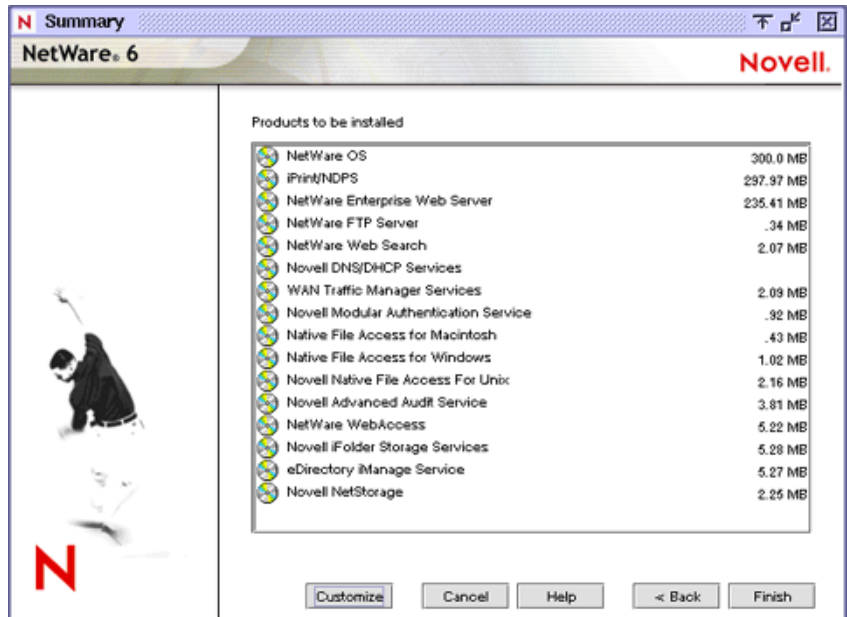
### iFolder サーバの DNS 名または IP アドレスとポート番号 (オプション)

Novell iFolder に割り当てた IP アドレスまたは DNS 名とポート番号を指定します。iFolder の DNS 名または IP アドレス、およびポート番号の指定は省略してもかまいませんが、指定することによって、NetStorage ユーザは、iFolder サーバ上のファイルとディレクトリにアクセスし、操作できます。

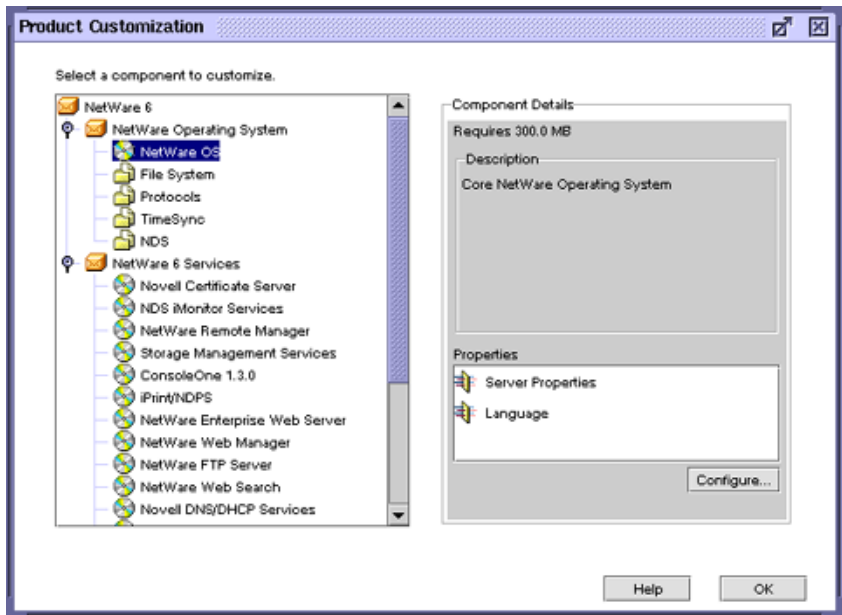
ヒント: IP アドレスとポート番号の割り当てが行われた画面を表示するには、[Back] をクリックします。

# インストールのカスタマイズ

ネットワーク環境に合わせて、製品のインストールをカスタマイズできます。



製品とコンポーネントをカスタマイズするには、[Summary] 画面の [Customize] をクリックし、[Customize] 画面を表示します。

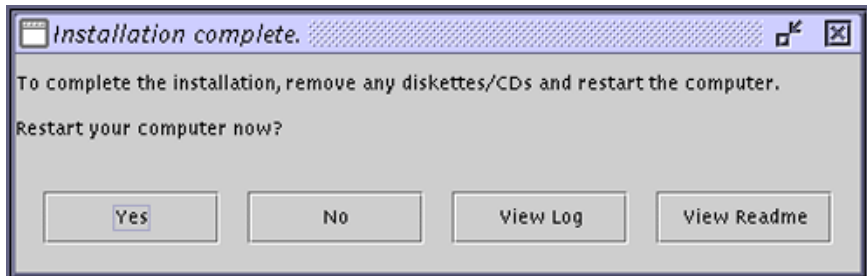


カスタマイズする製品を選択します。[Properties] をクリックします。必要に応じて製品を変更してください。[OK] をクリックして、[Summary] 画面に戻ります。

## サーバインストールの終了

サーバインストールプログラムは、コンピュータにファイルをコピーできる状態です。インストールする製品によっては、追加情報の入力が必要られます。

[Summary] 画面の [Finish] をクリックして、サーバへのファイルのコピーを開始します。設定を反映するには、すべてのファイルをコピーした後で、サーバを再起動する必要があります。



ファイルのコピーが終了したら、[Yes] をクリックして、サーバを再起動します。リブート時にサーバをロードすることが選択されている場合は、コンピュータがリブートすると、NetWare 6 サーバソフトウェアが自動的にロードされます。

リブート時にサーバをロードしないことが選択されている場合は、サーバを手動でロードします。サーバを手動でロードするには、[Yes] をクリックしてコンピュータをリブートします。コンピュータがリブートしたら、NetWare サーバのファイルが格納されている起動ディレクトリ (C:\NWSERVER) に移動し、「SERVER」と入力します。

## 次の手順

NetWare 6 のインストールまたはアップグレードが終了しても、製品が新しい環境で動作するように、製品を設定しなければならない可能性があります。サーバのインストール時に製品をインストールしないことを選択した場合は、[84 ページの「追加製品をインストールする」](#)の指示に従うことで、後で製品をインストールできます。

## NSS ボリュームを更新する

NSS ボリュームを持つ NetWare 5.1 をアップグレードした場合は、次の手順を実行して、NSS ボリュームを更新する必要があります。

注：詳細については、『Novell Storage Services 管理ガイド』の「[NSS ボリュームのアップデート](#)」を参照してください。

- 1 アップグレードの終了時に表示されるメッセージに従って、コンピュータをリブートします。
- 2 NetWare 6 アップグレードに関するすべてのプロセスが終了していることを確認します。
- 3 サーバコンソールで次のコマンドを入力します。

```
NSS /ZLSSVOLUMEUPGRADE=ALL
```

NSS ボリュームを NetWare 6 サーバにマウントできる状態です。

## 追加製品をインストールする

他のネットワーク製品をインストールし、設定する必要があります。製品の個別情報については、[NetWare 6 オンラインマニュアル \(http://www.novell.com/documentation/japanese\)](http://www.novell.com/documentation/japanese)にある製品のマニュアルを参照してください。製品の簡単な説明については、**11 ページの第 1 章「NetWare 6 へようこそ」**を参照してください。

サーバの基本インストール時に多くの製品をインストールできますが、Novell Cluster Services™ など、一部の追加製品は、サーバのインストールが終了してからでないとインストールできません。追加製品は、NetWare Deployment Manager を使用して、または GUI サーバコンソール画面からインストールできます。

### NetWare Deployment Manager を使用して追加製品をインストールする

- 1 Novell Client ソフトウェアが動作している Windows ワークステーションからネットワークにログインします。
- 2 NetWare 6 オペレーティングシステム CD のルートにある NWDEPLOY.EXE を実行します。
- 3 [Post Installation Tasks] > [Install NetWare 6 Products] の順にクリックします。
- 4 画面の指示に従って製品を追加します。

ヒント: CD のルートにある PRODUCT.NI ファイルを選択します。

### GUI サーバコンソール画面を使用して追加製品をインストールする

- 1 サーバの CD ドライブに NetWare 6 オペレーティングシステム CD を挿入します。
- 2 GUI サーバコンソール画面に進みます。  
サーバコンソールで「**STARTX**」と入力して、GUI サーバコンソール画面を開始します。
- 3 [Novell] > [Install] > [Add] の順にクリックします。
- 4 CD のルートディレクトリを指定し、[OK] をクリックします。
- 5 PRODUCT.NI ファイルを選択します。
- 6 画面の指示に従って製品をインストールします。

Novell Client ソフトウェアを実行している場合は、ここで既存のワークステーションをアップグレードする必要があります。Novell Native File Access Protocols を使用することで、追加ソフトウェアを使用せずにワークステーションを実行することもできます。詳細については、[NetWare 6 オンラインマニュアル \(http://www.novell.com/documentation/japanese\)](http://www.novell.com/documentation/japanese)を参照してください。

# 3

## NetWare 6 へのアップグレード

NetWare® 6 インストールプログラムを使用して、既存の NetWare 4 サーバまたは NetWare 5 サーバを NetWare 6 にアップグレードできます。

アップグレードの手順には、次の作業が含まれます。

- ◆ システム要件とソフトウェア要件を確認する
- ◆ ネットワークとコンピュータを準備する
- ◆ ハードウェアとソフトウェアの設定を指定する
- ◆ 追加のディスクボリュームを作成する (必要な場合)
- ◆ ネットワークプロトコルを選択してインストールする
- ◆ Novell® eDirectory™ を設定する
- ◆ 他のネットワーク製品をインストールする

アップグレードプログラムを実行すると、次の作業が自動的に行われてサーバが NetWare 6 にアップグレードされます。

- ◆ NetWare 6 オペレーティングシステム用のデバイスドライバと LAN ドライバがロードされます。古いドライバは、NetWare 6 に付属している新しいドライバと比較され、置き換えられます。
- ◆ eDirectory がアップグレードされます。
- ◆ NetWare 6 情報が AUTOEXEC.NCF ファイルと STARTUP.NCF ファイルに追加されます。
- ◆ NetWare 6 ファイルがサーバにコピーされます。

## システム要件とソフトウェア要件の確認

NetWare 6 にアップグレードするには、システムが次に示す最小限の要件を満たしている必要があります。

### システム要件とソフトウェア要件

- ❑ アップグレードするサーバは、次のいずれかを実行している必要があります。
  - ◆ NetWare 5.1、Support Pack 2 以降
  - ◆ NetWare 5、Support Pack 6 以降
  - ◆ NetWare 4.2、Support Pack 8 以降
  - ◆ NetWare 4.0、Support Pack 8 以降
- ❑ Pentium II または AMD K7 プロセッサを搭載したサーバクラスの PC
- ❑ 256MB の RAM
- ❑ Super VGA ディスプレイアダプタ
- ❑ 空き容量が 35MB の DOS パーティション
- ❑ SYS: ボリューム上での 2GB の空きディスク容量
- ❑ ネットワークボード 1 枚
- ❑ CD ドライブ
- ❑ USB、PS/2、またはシリアルマウス (必須ではなく推奨)

### ソフトウェア要件とその他の要件

ネットワークの環境設定に応じて、次のソフトウェアと情報の中の 1 つまたはすべてが必要です。

- ❑ NetWare 6 オペレーティングシステム CD
- ❑ NetWare 6 ライセンス / 暗号化ディスク
- ❑ eDirectory ツリーの [Root] に対するスーパーバイザ権
- ❑ サーバオブジェクトが格納されているコンテナに対するスーパーバイザ権
- ❑ eDirectory ツリーのセキュリティコンテナオブジェクトに対する読み込み権
- ❑ CD ドライブ (CD にアクセスするときが必要)

- クライアント接続ユーティリティ (別のサーバからアップグレードする場合のオプション)
  - ◆ Novell Client™ for DOS and Windows\* 3.1x (IPX™ が動作している NetWare サーバからアップグレードする場合のオプション)。
  - ◆ IP Server Connection ユーティリティ (IP のみが動作している NetWare サーバからインストールする場合のオプション)。  
操作手順については、Novell Client CD の PRODUCTS¥SERVERINST¥IPCONN.TXT を参照してください。
- IPアドレスおよびドメイン名(インターネットに接続する場合に必要な)
  - ◆ IP アドレス
  - ◆ ドメインネームサーバの IP アドレス
  - ◆ ドメイン名

IP アドレスとドメイン名については、ネットワーク管理者およびインターネットサービスプロバイダに問い合わせてください。
- 割り込みやポートアドレスなど、ネットワークボードとストレージデバイスのプロパティ (NetWare に含まれていない場合に必要)。  
詳細については、コンピュータハードウェアの製造元に問い合わせてください。

次に、NetWare 6 サーバのネットワークを準備します。このサーバが既存のネットワークに組み込まれていない場合は、[91 ページの「コンピュータの準備」](#)に進んでください。

## ネットワークの準備

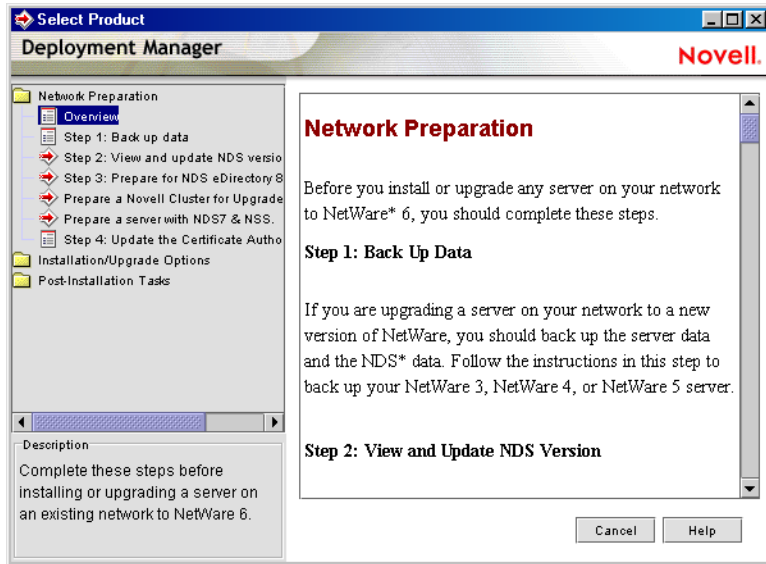
NetWare 6 サーバを既存のネットワークに導入する前に、NetWare Deployment Manager を実行してネットワークを更新する必要があります。

NetWare 6 用にネットワークを更新するには、次を実行します。

- 1 Windows 95/98 または Windows NT/2000 ワークステーションから、スーパーバイザ権を持つユーザとして、既存のネットワークにログインします。

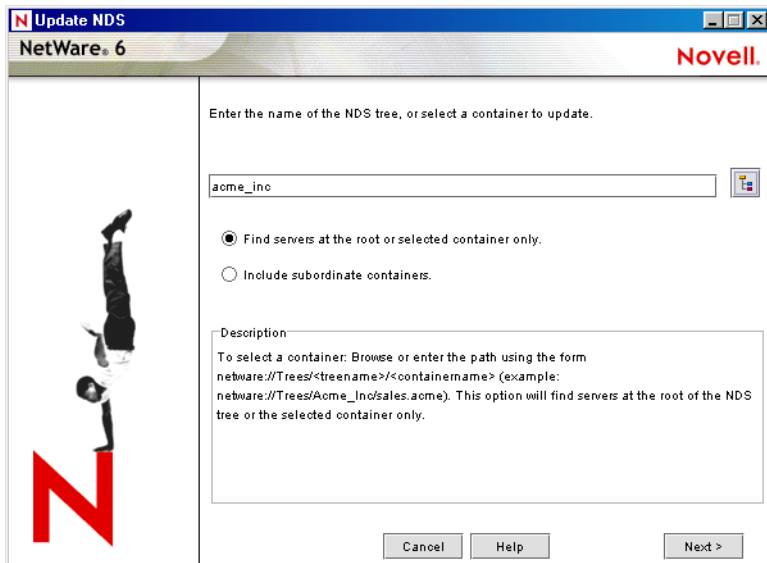
NetWare Deployment Manager の使用中にネットワークへのログインが要求される場合は、サーバ名を入力するか、[Details] をクリックし、IP アドレスを指定します。

- 2 NetWare 6 オペレーティングシステム CD にある NetWare Deployment Manager (NWDEPLOY.EXE) を実行します。

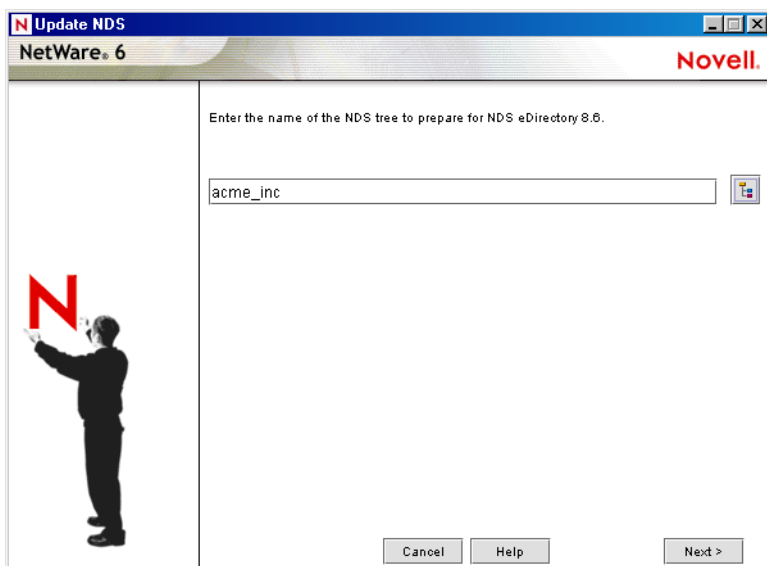


- 3 [Network Preparation] フォルダをダブルクリックし、タスクの一覧を表示します。[Overview] セクションを参照し、タスクについて理解します。
- 4 [Back Up Data] ステップの指示に従って、サーバデータと Novell eDirectory データをバックアップします。
- 5 [View and Update eDirectory Version] プログラムを実行し、必要に応じて eDirectory を更新します。

ヒント : NetWare Deployment Manager の実行時にログインが再び要求される場合は、[Details] をクリックして、サーバの IP アドレスを入力します。

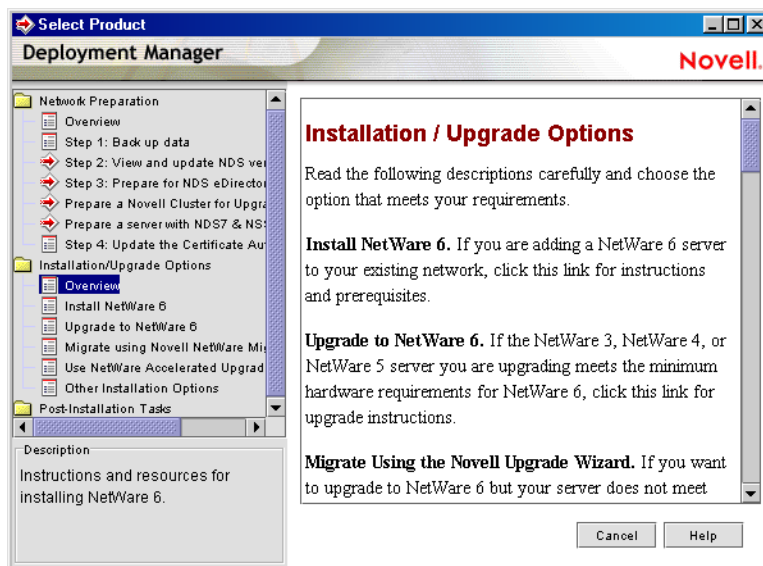


6 [Prepare for eDirectory] プログラムを実行し、ネットワークスキーマを拡張します。



- 7 (状況によって実行)NetWare サーバのクラスタをアップグレードしている場合は、[Prepare a Novell Cluster for Upgrade] プログラムを実行します。
- 8 (状況によって実行)NSS ボリュームを備えた、NDS<sup>®</sup> 7 が動作している NetWare 5 サーバをアップグレードしている場合は、[Prepare a Server with NDS 7 and NSS] プログラムを実行します。
- 9 [Update Certificate Authority (CA) Object] ステップの指示に従い、セキュリティコンテナオブジェクトと認証局 (CA) オブジェクトを作成または更新します。

NetWare Deployment Manager の [Network Preparation] セクションを終了した後、[Installation / Upgrade Options] セクションを参照し、最も適したオプションを決定します。



インストールオプションまたはアップグレードオプションを選択した後、NetWare 6 サーバとなるコンピュータを準備します。

## コンピュータの準備

NetWare 6 オペレーティングシステムに備えて既存のコンピュータを準備するには、次を実行します。

- ◆ NetWare サーバファイルをバックアップする
- ◆ アプリケーションファイルを準備する
- ◆ 有効な DOS パーティションを検証する
- ◆ アップグレードプログラムにアクセスする

### NetWare サーバファイルをバックアップする

DOS パーティション上のファイルも含めて、NetWare サーバファイルのバックアップを少なくとも1つ作成します。バックアップを作成せずにアップグレードを実行しないでください。

### アップグレードの前にアプリケーションファイルを準備する

アプリケーションによっては、アップグレードの前にファイルを準備する必要があります。

**IBM WebSphere Application Server for NetWare ファイルを準備する (状況によって実行)**

サーバで IBM\* WebSphere Application Server for NetWare が動作している場合は、NetWare 6 に付属しているマイグレーションユーティリティを使用して、既存の Web アプリケーションを移行する必要があります。ユーティリティによって、WebSphere Web アプリケーションが Tomcat 3.3 Web アプリケーションに移行されます。

WebSphere アプリケーションを移行するには、次を実行します。

- 1** NetWare サーバシステムコンソールで、「**XMLCONFIG -EXPORT volume\_name:¥websphere¥migrate.xml adminNodeName NodeName**」と入力します。

注: WebSphere が別のディレクトリにインストールされている場合は、そのディレクトリを指定します。

- 2** NetWare 6 へのアップグレードを終了します。
- 3** アップグレード後、『Novell Web Services の使用』の「**WebSphere から Tomcat への移行**」の指示に従って、アプリケーションの移行を続行します。

ZENworks for Server 2 が動作しているサーバを準備する (状況によって実行)

サーバで ZENworks for Servers 2 が動作している場合は、サーバを NetWare 6 にアップグレードする前に、ZENworks for Servers 2 Support Pack 1 をインストールする必要があります。

ZENworks for Servers 2 Support Pack および関連情報は、[Novell テクニカルサポート \(http://support-j.novell.co.jp/\)](http://support-j.novell.co.jp/) で入手できます。

## 有効な DOS パーティションを検証する

NetWare サーバは、DOS パーティションを使用してコンピュータを起動し、NetWare をロードします。既存の NetWare 起動ファイルの多くは、新しい NetWare 6 ファイルで置き換えられます。さらに、新しい NetWare 6 ファイルを格納するために、DOS パーティションは最小限の空き容量以上の容量を備えている必要があります。

DOS パーティションの空き容量が十分でない場合は、サーバをアップグレードできません。新しい DOS パーティションを作成し、新しいサーバをインストールする必要があります。[27 ページの「NetWare 6 の設定」](#)を参照してください。

ヒント: コンピュータが最小要件を満たしていない場合は、Novell Migration Wizard ユーティリティを使用して、データを別のコンピュータに移行できます。詳細については、[www.novell.com/documentation/japanese](http://www.novell.com/documentation/japanese) の Web サイトを参照してください。

## インストールファイルにアクセスする

NetWare 6 は、サーバのローカルな CD ドライブ、またはネットワーク上にあるインストールファイルからアップグレードできます。NetWare 6 インストールファイルにアクセスするには、次を実行します。

- 1 NetWare 6 オペレーティングシステム CD を挿入し、コンピュータを起動します。
- 2 次のいずれかを実行します。
  - ◆ コンピュータを CD から起動する場合は、画面のメッセージに従い、[36 ページの「言語を選択し使用許諾契約に同意する」](#)に進みます。
  - ◆ コンピュータを CD から起動しない場合は、次のステップを続行します。
- 3 コンピュータを DOS 3.3 以上で起動します。

- 4 NetWare 6 オペレーティングシステム CD にアクセスします。  
CD ドライブをディスクドライブにインストールする場合は、CONFIG.SYS ファイルと AUTOEXEC.BAT ファイルに指定されている CD ドライブの論理ファイル名が、CDROM または CDINST でないことを確認します。
- 5 CONFIG.SYS ファイルに、**FILES=50** コマンドと **BUFFERS=30** コマンドが指定されていることを確認します。
- 6 (状況によって実行) ネットワーク上の NetWare 6 ファイルからアップグレードする場合は、Novell Client CD に含まれている Novell Client for DOS and Windows 3.1x または IP Server Connection Utility ソフトウェアをインストールします。

## 次の手順

NetWare 6 インストールファイルにアクセスした後は、**35 ページの「ソフトウェアのインストール」**以降の指示に従って、サーバをインストールします。

**重要** : NSS ボリュームの NetWare サーバをアップグレードしている場合、NSS ボリュームは、更新されるまで、表示またはマウントされません。NSS ボリュームの更新は、サーバアップグレードの終了後に、**83 ページの「NSS ボリュームを更新する」**の指示に従って行います。

アップグレードを行っている場合は、新しいサーバをインストールするときに通常要求される情報を、すべて入力する必要はありません。インストールプログラムは既存の情報を使用してセクション全体をスキップし、NetWare 6 へのアップグレードを完了します。

**ヒント** : インストールのタイプとして、[Upgrade] を必ず選択します。

